

ホロライブの男性VTuberの生活

蒼井えら

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ホロライブ二次創作!!

ホロライブ初の男性VTuberとなった蒼井絵羅（あおいえら）はホロライブという舞台でどんな生活や仕事をこなすのか

ハーレム ギャグ たまにシリアスというまあふっーの小説

不定期更新となりますのでご了承ください

なおホロスターズは出ません!!!!

それとハーレムについてなんですがチャンネル登録しているVTuberをハーレムに組み込む予定なので誰がハーレムに加わるかは秘密です☆

目次

設定

設定カキカキその1 | 1

番外編

番外編 その1 さくらみこの想い人 | 7

番外編 その2 昔のいじめっ子との再開と吸血鬼と | 13

番外編 その3 天使とドラゴン | 17

本編

第1話 新人V Tuberの初日 | 20

第2話 ねぼらぼwith絵羅と引退V | 23

第3話 恋愛について考える蒼井絵羅 | 30

第4話 彗星と巫女とシヤチと鷹と事故 | 33

第5話 絵羅の気持ち「恋心」 | 39

第6話 ししえらの報告 | 43

第7話 はあちやまクツキングー！ | 46

第8話 さんばかwithししえら | 50

第9話 歌姫 | 54

第10話 ぶいすぽっ！お泊まり会withおかえら | 58

第11話 新人とメイドとおっとり悪魔 | 63

第12話 大乱闘スマッシュホロOX | 70

第13話 帰省と制度 | 74

第14話 迷った時は来た道を戻れ！ | 78

第15話 黒上フブキと愉快的仲間 | 83

第16話 ホロライブEnglish Myth登場 | 89

第17話 時の獄吏 | 93

第18話	holoXとのマキブ	96
第19話	あおぎり高校とコラボ	101
第20話	妊娠	106
第21話	人外ーズ	109
第22話	おや？鷹嶺ルイの様子が……？	112
第23話	大代真白の新衣装	117
第24話	ハーレム一旦締切	121
第25話	ウーバーござるwith蒼井絵羅	124
第26話	ガン普拉仲間増やし	127
第27話	姉街	130
第28話	双子のワンワン	133

設定

設定力キカキその1

今回は設定ということでこの二次創作におけるホロメンや他のV Tuber達の設定その1を力キカキしたいと思います

主人公 蒼井絵羅

種族：人間

肩書きはホロライブ初の男性V Tuber!!

絆きらめく恋いろはの朱雀院椿と朱雀院都子の容姿を足して2で割ったような容姿

髪色は赤みがかった青 瞳は右が緑で左が深緑

身長164cm 体重43kg

にじさんじオーディションに3回応募するものの3回とも落ちる

次で落ちたら個人で始めようとしていたところににじさんの社長から話を聞いた谷郷元昭ことYAGOOが予定していた初の男性ホロライバーのオーディションを開催しようとしていた YAGOOにオーディションに参加しないかと誘われ見事合格してホロライブの仲間入りを果たす

誰にでも優しいのが長所なのだが優しすぎるため人からは心配されることもある

嫁1人目

獅白ぼたん 種族：獣人「ホワイトライオン」

ミリタリー系のジャンルが得意でFPSが大の得意でたびたび出る神エイムで視聴者を見惚れさせる程の腕前

絵羅とは小学一年生の頃からの大親友で良く遊びに行ったりFPSでの1on1をしたりと色んな遊びをしている

絵羅への恋心を持ったのは高校1年の時痴漢にあったのを助けられたのがきっかけ いつものほんわかした絵羅とのギャップにキュンと来たようだ

ファンネーム：SSRB

嫁2人目

猫又おかゆ 種族：獣人「猫」

昔からの幼馴染で獣人族という理由だけで虐められていたが絵羅は獣人とか関係無しに接してくれていた

その後いつの間にか絵羅に恋心を抱いていた

一人暮らしをしていた絵羅の元におかゆが来たことから同居生活が始まる

YAGOOとえーちゃんはおかゆと絵羅が同居したその日に同居報告を受けていた

ファンネーム：おにぎりやー

嫁3人目

沙花又クロエ 種族：獣人（鯨）

holox（6期生） 秘密結社holoxの掃除屋

お風呂嫌いで1週間以上入らない事がざらにあったが絵羅と出会ったことで2日に1回は入るようになった 本人曰く臭いと嫌われるからだという 絵羅との出会いは海で絵羅が足を吊った時に助けに行っただけの出会い

その1ヶ月後、廃墟にて仕事を終え絵羅を残存した敵だと勘違いして攻撃を仕掛けるものの返り討ちにあい絵羅にお仕事（始末）がバレるが絵羅はその事を何も言わずさらにはクロエを怪我はないか心配してくれた

その優しさに触れそして強い絵羅に惚れた

ちなみに絵羅はCCC（近接戦闘術）を学んでいたので対処出来たと後に語る

ファンネーム：飼育員

嫁4人目

潤羽るしあ 種族：魔界人（ネクロマンサー）

元3期生

情報漏洩をしまい契約解除

やってしまったと本人は思っているみたいで今回起こした事を反省して個人Vになってからは情報を流出させないよう今まで以上に

注意するようになった

初めて会った時から絵羅を「貴方は運命の人！」と言われた
たまに遊びに来てはゲームやらなんやらしている

ファンネーム：ふあんでつと

嫁5人目

魔乃アロエ 種族：サキユバス

元ホロライブ5期生

魔界の住人で歌姫を目指している

自身のやらかしでホロライブを辞めた

個人Vとして活動中

ホロライブを辞めてから半年たった頃

配信に遅刻しそうになってる時曲がり角で歩いていた絵羅と激突

絵羅がバランスを崩し倒れた際

アロエも倒れ唇と唇がふれあい2人にとってのファーストキスを
してしまう

ファンネーム：魔の友

嫁6人目

赤井はあと 種族：人間

1期生

破天荒なアイドル 自分のセンチティブアートを見る配信をした
りタランチュラを食べたり洋楽オンリーの歌枠をしたりレパート
リーが多い 絵羅とは中学2年生の時にはあとが中学1年生の時に
出会っている

ファンネーム：はあとん

嫁7人目

八雲べに 種族：人間

ぶいすぽ所属

セクシー枠……まあ、半分お笑いセクシー枠感はパない

絵羅とはえぺまつり外伝で出れなくなった白雪レイドの変わりに
らっだあチームに入ったことがきっかけで交流するようになった
この時絵羅はまだ個人勢である

V最協の後一人呼び出された絵羅は八雲べにに告白された

前々から告白しようとは思ってたらしくししえらのお付き合い報告は衝撃だったみたいだ

ファンネーム：しもべに

嫁8人目

アンジュ・カトリーナ 種族：人間

にじさんじ所属公式美少女（自称）錬金術師

絵羅とは同じタイミングでオーディションを受けていた ファン

ネーム：賢者キッズ……もといFCL（意味 フル○○リスナー）

嫁9人目

猫汰つな 種族：人間

ぶいすぽっ！のメンバー ○○ペックスがお得意

デビューしてから初の○○ペックス配信にてラストに絵羅と偶然マッチングしたのが交流のきっかけとなる

ファンネーム：つな友

嫁10人目

鈴原るる 種族：人間

物静かで言葉遣いが優しい女の子

にじさんじの悪魔 でびでび・でびるを崇拜している

負けず嫌いで強敵には何度も何度も挑んだりしているにじさんじを引退し今は綾人のガンプラ店で働いている

ファンネーム：なし

嫁11人目

A Z K i 種族：人間

カバー所属↓upd8↓イノナカミュージック↓ホロライブ ホロライブができる前からカバーに所属しておりupd8に加入

イノカナミュージック（ホロライブ）に入ってからでもupd8が活動終了するまで所属し続けたそしてイノナカミュージックのプロジェクトが終了した後はホロライブ0期生として移籍した

絵羅とはときのそらと同じく握手会で会った程度

絵羅の歌声に惚れぼれしている

ファンネーム：開拓者

嫁12人目

犬山たまき 種族：獣人（犬）

のりプロ所属 可愛い見えた目をした男の娘
交流はたまきからのコラボ対談を持ちかけられた頃から

なぜ男が嫁枠に入ってるかと言うと同性婚が一夫多妻制と共に解
禁されたから

ファンネーム：たまきんズ

嫁13人目

オーロ・クロニー 種族：人間

生真面目ではあるのだが一度ツボに入るとゲラったりクールない
メージとは裏腹におちよこちよいいな人である

クロニーと初めてコラボしたJPは絵羅である

ファンネーム：Kronies

嫁14人目

尾丸ポルカ 種族：獣人（フェネック）

サーカス団の団員 サーカスの団員らしくエンターテインメント
にとんだ配信をしており持ち前の明るさでリスナーを元気にしてい
く 絵羅とは絵羅がデビューする2日前に出会う

ファンネーム：座員

嫁15人目

ベスティア・ゼータ 種族：人間

シークレット・アーカイブ・ユニットの構成員

コードネームはV・7 可愛い外見と声そして毒舌な性格と可愛
いを詰め込んだかのような女性

髪型は独特であり原神の刻晴みたいなたけのこ付き

ファンネーム：Zecretary

嫁16人目

高嶺ルイ 種族：獣人（鷹）

holoXの女幹部 元ヤンキーで元ブラック企業にいた事があ
る

ホロライブメンバーの中でもかなり仕事ができる。その反面PO
Nが多い時もあるのでかなり親しみやすい

絵羅とは絵羅がホロライブにオーディションを受けに来た時すれ
違ってあいさつした程度である

ファンネーム：ルイ友

嫁17人目

大代真白 種族：人間

あおぎり高校の3年生 自称17歳

マシユマロ大好きとの事だが実際にはおビールに合うようなおつ
まみ系が好き

ファンネーム：ドナー

まだ増える予定ですので増えたら少し話数書いたらまた書いてお
きます

番外編

番外編 その1 さくらみこの想い人

みこ宅

ピンポン

トビラ開ける

みこ「らっしやせー」

絵羅「来たぞみこーち」

桜神社の近くにみこちが住んでる家がある

そこにお邪魔する絵羅

リビング

絵羅「んで？どした 相談あるつってたけど」

みこ「その：好きな男子がいるんだけど：誘い方が分からの」

絵羅「そういえば配信で言ってたよな」

みこには好きな人がいることを配信で暴露 コメント欄が一気に

ざわついた

絵羅「誘い方ねえ：んー 勇気を出して言うしかないよなあ」

みこ「ふっつーの考えだにえ」

絵羅「うるせえw 告白したのししろんへの恋心気づいた時なんだ

もん 仕方ねえよ」

みこ「言われてみればそうだったにえ…」

プルルルルルル

みこのスマホが鳴る

みこ「出るにえ」

絵羅「おk」

みこ「もしも……………えっ あっ！うん！行く！絶対行く！うん…う

ん……………じゃあ明日！」

電話切る

絵羅「もしかして遊びのお誘いでも来たんか？」

みこ「その通り！」

絵羅「おー」

みこ「明後日が楽しみ」

約束の日

みこ「……」

ド緊張してるみこ

千賀「お待たせー!!」

みこ「来ちゃ♪」

千賀「早いな来るのまだ約束の時間まで25分はあるぜ?」

みこ「2人つきりのお出かけが嬉しくてつい……(〃▽〃)」

千賀「でもそれほどまでに楽しみにしてたんだな よーし!今日は
たっぷりと楽しもうぜ!」

みこ「おー!」

蒼井千賀

蒼井絵羅の双子の弟

みこと1番遊んでる男性である

お節介で良くみこの世話とかをしているので巫女と執事ってコン
ビ名までついてしまうほどみことは仲良し

今はみこの専属マネージャーとして働いている

さくらみこの想い人

千賀「遊園地に行くぞー」

みこ「いえー」

お化け屋敷

みこ「……ここ行くの?」

千賀「おう!」

みこ「……怖いのかなんだけど」

千賀「僕がいるから安心しろって」

みこ「む…頑張ってみますか!エリートだし!」

お化け屋敷内部

みこ「ど、どっからでもこー……いい」

お化け役「うおー」

みこ「ぴみやあああ!?!」

千賀「ほあああ!？」

みこの叫びに驚く千賀

半分すぎた頃

みこ「こうわ……」

千賀「みこの叫びでビビってるな俺」

みこ「ご、ごめんね……?」

千賀「いいよ 連れてきたのは俺なんだし怯えてるみこは可愛いな
とか思ってる」

みこ「はうΣ（／ω／）」

照れるみこ

お化け屋敷終了

みこ「怖かったけど千賀のおかげで少し楽しめた」

千賀「それはなにより……まあ次ここに遊びに来る時は寄らないよう
にするよ」

みこ「そうしてくれると嬉しいにえ……」

レストラン

みこ「えーとみこ、コレとコレ……で」

千賀「俺はステーキとご飯にしよ」

料理を頼んだ二人

千賀 ガーリックサイコロステーキ＋ご飯

みこ サラダとハンバーグ

食べ終わったあと

みこ「ちよつと多すぎたにえ……」

千賀「グラム指定の項目あつたぞ」

みこ「あつ……グラム指定忘れてたわ……」

歩きの最中

みこ「ねえ……?」

千賀「どうした?」

みこ「なんで今日誘ってくれたの?」

千賀「ん? ああ……福引やつたら遊園地ペアチケットが当たってな

最初は兄貴に渡そうと思ったんだけどそれはお前のものだ、誰か誘い

たい人いねえーの？って言われたのさ そしたらみこが真つ先に浮
かんでな 誘ったって訳」

みこ「ほーん……ふふ」

千賀「え？僕なんか変な事言ってた？」

みこ「ううん……真つ先にみこを思い浮かべてたってこと言われたの
嬉しいなって……ありがとうね千賀」

千賀「お、おう／＼」

遊園地を思いっきり楽しんだ二人

みこ「今日は楽しかったよ ありがとう千賀」

千賀「最後に行きたい所あるんだが……」

みこ「良いよ いこ♪」

展望台

みこ「うおー 夕陽綺麗ー!!こんな所あつたんだー!」

千賀「そうなんだよ こここの夕陽見るのが好きなんだよね!」

展望台から見える景色は壮観で絵に描いたかのような景色が広
がっている

みこ「ここで告白する人いるのかな？」

千賀「たまに来ると告つてる人は見かけるな 良いロケーションだ
し告白する場所にはピッタリだ」

みこ「ふーん……」

しばらく夕陽を見続ける二人

みこ「ねえ……」

千賀に話しかけるみこ

千賀「どうしたー?」

振り向いた千賀の目には真剣な眼差しのみこが映った

みこ「今日……千賀に言いたい事……あるんだけど良い……?」

千賀「……なんだ?」

深呼吸を何回かするみこ

みこ「ふうー……あのね?」

千賀「ああ……」

みこ「みこね……初めて会った時からさ 良い奴なのかなって思っ

て」

千賀「うん」

みこ「実際に関わってきて……みこの事良く見てみこの気持ちにも寄り添ってくれて……とつても嬉しかったんだよ」

千賀「そうか……僕はなんか初めてみこを見た時から……アホな子だつて思ってた」

みこ「うおい！……事実だから反論出来ねえ……」

千賀「んでその時からなんかさ……みこの事放っておけなくて世話焼きみたいな事してたなって……それでいて優しいし可愛いしそれこそたまに美人に見えたりしてた」

みこ「ふえっ／＼／」

千賀「関わつてて飽きないなって……話ちよいそれだけけどまだ言いたい事あるんだよな？」

みこ「うん　じゃあ改めて……」

みこは自分の想いを言った

みこ「みこね……中学2年の頃からずっと好きでした！付き合っひ……舌嚙んだあ……」

千賀「締まらねえなおい」

みこ「てへ」

千賀「でも……僕の事好きって事……なんだな　その言葉から察するに」

みこ「当たり前　答えは……どう？」

不安そうに千賀の顔を見るみこ

千賀「……答えは」

息を飲むみこ

千賀「僕は……中学1年の頃から……ずっと……みこの……さくらみこの事好きだ！」

みこ「…………やった……」

緊張の糸が切れたのかその場にへたり込むみこ

千賀「大丈夫？」

みこ「大丈夫……告白するのめっちゃ緊張してただけだから……ありが

とう千賀……みこ嬉しい」

千賀を見上げるみこの目には涙が

千賀「立てる？」

みこ「じゃあ…起こして」

手を伸ばすみこの手を取り立たせ、そして

みこ「んっ…♥」

千賀はみこを引き寄せキスをする

それも…大人なキスを

キスし終えた後

千賀「さくらみこさん…結婚しよ」

みこ「うん…しよ 蒼井千賀さん……」

またキスした二人

さくらみこ配信

みこ「えつとね 緊急でお知らせしたい事があって…」

コメント欄「ついに…?」「彼氏来た!」「どっちだ?」

みこ「私、さくらみこは前に言ってた想い人の男性とお付き合いすることになりましたー!!!」

コメント欄「来ちゃアアア!!」「みこちおめでとうー!!!」

みこ「お相手は…みこの専属マネージャーです! 幼馴染です!」

コメント欄「漫画かよ!?!」「漫画みたいな展開が現実に!?!」

みこ「そう! 漫画みたいな事が起きたんよ! テンション爆上がりだったにえ」

しばらく喋った後

みこ「…つてことで今回の報告配信は彼氏が出来たという報告配信でした でも! みこの配信スタンスは変わらないので安心してくだにえ それではおつみこです! ばいばーい」

番外編 その2 昔のいじめっ子との再開と吸血鬼と

絵羅「(ひ・ω・ま)」

おかゆ「んじやあ散歩にでも行きますかー」

ぼたん「私もー」

自由気ままな散歩中

おかゆ「たまには自由気ままに散歩するの悪くないねー」

ぼたん「思わぬ出会いがあったりしてな」

おかゆ「僕を虐めてた人に会いそう トラウマとかではないから別に会っても大丈夫なんだけどね」

絵羅「なる」

曲がり角から人が出てきた

そこにはおかゆの見知った人がいた

??「あっ」

おかゆ「敦貴くーん」

敦貴「よっ……よう……」

バツが悪そうな男の名は有村敦貴種族：人間

おかゆを虐めていた人達の中の1人

なんとなしにおかゆを虐めてたがなんで虐めてるんだろうとふと

思い虐めを辞めた 謝った次の日に転校した

おかゆ「久しぶりー」

敦貴「お、おう 久しぶり」

おかゆ「あれからどう？」

敦貴「あー その 転校した後俺虐められてたんだよな」

おかゆ「マジか」

敦貴「ああ、虐められるのってあんな大変なんだな」

おかゆ「メンタルは？」

敦貴「まあ、おかゆと話してたから何とかね」

絵羅「大変だったんだな」

敦貴「うい」

その後今はどんなことをしているのかという話をする

敦貴「え、また増えたの？」

おかゆ「そうなんだよー 罪作りな男だよねー」

ぼたん「わかるわー すんごいモテるんよ あいつ」

絵羅が他の友達に話に行ってる間話す3人

敦貴「モテるのうまやら……じゃなくて羨ましい」

おかゆ「そういえば好きな人いるって聞いたけど告白したの？」

敦貴「したにはした 返事待ち」

おかゆ「ほほう」

敦貴「ちなみにおかゆに虐めしてたの知ってる子でさ まあ、正直

望み薄ってゆーか…」

ぼたん「あー まあどんな返事が来てもいいようにどっしり構え取ればいいぞ」

敦貴「アドバイスありがとうな」

??「いたー」

ぼたん「あれは…!」

敦貴「あ、来た」

メル「お待たせーまつ…あるえ？絵羅君達だー」

絵羅「メルっちー」

夜空メル 種族：吸血鬼

吸血鬼だけど血が苦手 血の代わりに愛飲しているのはアセロラ

ジューズ

自分は天才バンパイアとは言ってるがポンが多い

絵羅とは蒼井絵羅歓迎会にて少し喋った程度

ファンネーム：かぶ民

絵羅「もしかして敦貴の告白した人って」

メル「メルだよ まあ、今は友達からってね 買い物行くのー」

絵羅「生殺しでは？」

敦貴「まあ、答え考えてくれるだけまだいいよ」

ぼたん「んじゃ私らは散歩の続き行ってくるでな」

敦貴「おけ」

絵羅「じゃあの」

去っていく絵羅達

敦貴「……」

メル「久しぶりに会ったけどどうだった？」

敦貴「なんか…ずるいよね 嫁さん美人揃いだもん」

メル「ふーん まあ、メルはバーレム禁止にするけどね」

敦貴「そろそくだ ぼたんさんが寛容だから出来たことだもん」

メル「だね」

敦貴「とにかく友達として買い物行こうぜ」

メル「OK」

その後 メルの行きたい場所に連れ回された敦貴はヘトヘトになりメルの家で休む事にした

メル「お疲れ様 はい 麦茶」

敦貴「ありがとう ゴックゴック はふうー 美味し」

メル「………ねえ」

敦貴「ん？」

まっすぐ敦貴を見つめるメル

敦貴「どした」

メル「もー一回メルを好きになった理由教えて欲しいな」

敦貴「改めて…か 分かった」

敦貴がメルを好きになった理由を話す

敦貴「最初に容姿が好きになってな まあ、容姿が良くても性格が悪いかあるから友達になってお互いの事知ってあわよくばお付き合い…とか思ってた」

メル「なる」

メルの目を見て

敦貴「楽しく過ごしてくうちに性格も好きになってきて夢にメルが出てくるようになってきてあ、本気でメルの事好きなんだなって自覚するようになったんだよね」

メル「そうなんだ…ふふ」

敦貴「だから改めて……メル……好k……」

その言葉を言う前にメルは敦貴の唇にキスをして舌を絡めとり
デープキスをした

唇を離す

敦貴「いきなりされるのはちよつとびっくり」

メル「えへへ ごめんね でも、これでも外でキスするの我慢して
たんだからね」

敦貴「なるほど……キスで告白OKって感じが ありがとう」

メル「うん 昔は悪い人だったのは分かってる でも、今反省して
それでいてその虐めてた人と仲良くやってるの見て安心した」

敦貴の目を見て

メル「キスでOK出しちゃってけど言葉で……敦貴、愛してる♥」

敦貴「おう！」

番外編 その3 天使とドラゴン

かなた「ねえ、ココ」

ココ「どうした 天使公」

お茶飲むココ

かなた「好きな人おるん？」

ココ「!?こっ…ケホケホっ」

かなた「おおう 大丈夫か??」

ココ「変なこと言うからだっ」

かなた「えー??」

桐生ココ 種族：竜族

人間の交流をしたくなり自分の住むところから移住してきたドラゴン

仁義、任侠を重んじる優しいドラゴンさんである

ドラゴン形態にはなれるものの変身してしまうと街が壊してしまうのでしない

ファンネーム：たつのこ

天音かなた 種族：天使

天界学校に通う天使

恥ずかしがり屋の性格

歌がとても上手くロングトーンもお手の物

その歌声はまさに天使

ファンネーム：へい民

かなた「で?どうなん??」

ココ「…いる」

かなた「どんな人ー?」

ココ「中谷晶哉」

かなた「えっ あいつ?」

ココ「うん」

中谷晶哉 種族：エルフ

母親がエルフで父親が人間のハーフ

見た目はヤクザだがいたって普通の優しいエルフ

かなた「どこに惚れたん？」

ココ「えーと、つり目気味の目に桐生ちゃんみたいな声質とガタイの良い体してるし性格も凄く優しくてそこに」

かなた「たーしかに良い要素ばつかだよね へー」

ココ「好きな人の事言うの恥ずいなっ（／＼／＼／＼）（テレビリ）」

かなた「んじゃあココの好きな人の話も聞けたし……僕も言うよ」

ココ「ワタシだけじゃ不公平だからな かなたはだ r……」

かなた「ココと同じ人」

ココ「（・▽・）What? 同じ人好きになった系??」

かなた「うん 理由は桐生一馬さん声を覗いてはココと一緒にだよ」

ココ「そうか……ほーん じゃあさ……」

かなた「するか 告白!一緒に!」

かなた「はおああい!!?」

ココ「一緒に告白すれば裏でこっそり付き合っていた!!?なんてならなくて済む!」

かなた「確かにそうだね うん!しよ!」

ココ「よしやー」

2日後

ココ「………勢いで言ったが……」

かなた「今となっては恥ずかしいね……」

晶哉「すまん 待たせたか?」

2人「ううん、今来たところ」

晶哉「なら良かった 話を聞かせてもらおう」

2人は声を合わせ

2人「ワタシ（僕）!晶哉の事が好き!!付き合ってください!!」

晶哉「…その」

ココ「ん?」

晶哉「ココとかなた2人同時に好きになってるんだ俺」

2人「なんとおおお!!!?」

晶哉「だから2人を幸せにするから…いいか？」
かなた「もちろん！」

ココ「ぜってえしろよな!!」

晶哉「おうよ」

2ヶ月後

絵羅「んで、もう子供出来たんかーい！」

かなた「うん♥」

ココ「私はまだだから気長に待つぜえ」

結婚発表した時 晶哉の容姿を見て心配された

本編

第1話 新人V T u b e rの初日

?? 「マジで入るんだな……ホロライブ」

1人の男子がホロライブ事務所前に立っていた

?? 「ホロライブ初男性V T u b e r…どんな試練が待ってるんだろ
うな よし！蒼井絵羅！行くぜ！」

その男の名は蒼井絵羅（あおいえら） 男だが女の子みたいな顔を
している男子だ

絵羅 「おはようございますー」

??? 「新人さん来ちゃー」

絵羅 「初めまして新人の蒼井絵羅です よろしくお願いします」

フブキ 「初めまして白上フブキです よろしくお願いします」

絵羅が事務所のオフィスに入ると大先輩である白上フブキがいた

白上フブキはホロライブの1期生の狐さん 種族：獣人（狐）

ファンネーム：すこん部

白上フブキ 「いやーまさかホロライブ初の男性V T u b e rが誕生
するとは…時代も変わりかねえー」

絵羅 「かもしれませんね」

フブキ 「もしかして緊張はしてない感じ？」

絵羅は首を横に振る

絵羅 「それでもバリバリ緊張してます」

フブキ 「それはそうだよねっ 冷静だったから…」

絵羅 「緊張するほど冷静になるタイプみたいですよ」

フブキ 「そうなんだ 珍しいタイプだね」

絵羅 「はい」

Aーちゃん 「おはようございます お2人共」

絵羅 「あ、おはようございます」

フブキ 「おはよー」

友人A 「愛称 えーちゃん」

えーちゃんはホロライブの裏方担当さん 種族：人間

えーちゃん「色々と教えたい事があるので別室行きましょう」

絵羅「了解です では、失礼します」

白上フブキ「はい♪」

仕事の内容を確認した後

えーちゃん「どうでした？話しかけた感想は」

絵羅「話かけやすかったですね 気さくな狐って感じでした」

えーちゃん「あれでも緊張してたんですよ 少し声震えてましたし」

絵羅「最初はそんなものですよ」

えーちゃん「絵羅さんはどうなんです？」

絵羅「あんな可愛い顔を見てたら少し緊張しましたw」

えーちゃん「そうなんですネ：あ、少し喋り過ぎましたね」

時刻は18時をさしていた

絵羅「お疲れ様でした それでは」

えーちゃん「お気をつけて」

蒼井宅

玄関にて

絵羅「ただいまー」

ガチャリ扉を開けると

???「ご飯にする？お風呂にする？それとも：わ・た・し？」

絵羅「何やってんすか おかゆ」

おかゆ「新妻ごっこ？」

絵羅「さいですか：つてかご飯作れたのか？」

おかゆ「頑張ってちよこ先生に習った」

絵羅「ちよこ先生かー そういえば料理上手だったな」

猫又おかゆ 種族：獣人（猫）

ゲーマーズ

数年前から絵羅とおかゆは同s：同居している

昔からの幼馴染で獣人族という理由だけで虐められていたが絵羅は獣人とか関係無しに接してくれていた

その後 一人暮らしをしていた絵羅の元におかゆが来たことから同居生活が始まった 理由は頼れる人だから 現在 絵羅に惚れている

少し前におかゆが配信で同居してる男子がいると発言しおかゆのガチ恋勢が阿鼻叫喚したとかしてないとか

ちなみにYAGOOとえーちゃんはおかゆと絵羅が同居したその日に同居報告を受けていた

ファンネーム：おにぎりやー

話に出ていたちよこ先生というのは癒月ちよこの事である

癒月ちよこ 種族：悪魔

2期生

悪魔界の保険医 甘いボイスで大人なお姉さんであるが少し天然であつてうっかりすることもある 大人な、でも可愛い悪魔

料理は人並みに上手くたまに料理コラボ配信することもある

ファンネーム：ちよこメイト

おかゆ「ねー 今日一緒に寝よー」

絵羅「ホロゲームーズコラボでしょ今日 終わったら…まあ、勝手に布団の中に入っとけ」

おかゆ「わーい 絵羅大好きー」

絵羅「はいはい さ、ご飯食べよつか」

おかゆ「りようかーい」

ゲームーズコラボが終わった後おかゆは絵羅の布団に忍び込んで一緒に寝た

第2話 ねぼらぼ With 絵羅と引退V

初めての配信から15日が経過したある日

絵羅はホロライブ第5期生であるねぼらぼと共に買い物にでかけていた

ぼたん「やー ごめんねー 急に呼び出してー」

絵羅「別に暇だったし大丈夫よん」

ポルカ「大量に買うから覚悟しとけよー♪」

ラミイ「お酒買うぞー！」

ねね「お酒はラストだよ ラミイ」

ラミイ「分かってるー！」

5期生（ねぼらぼ）

桃鈴ねね 種族：人間

5期生オレンジ担当、明るく元気ハツラツ

少し前までは語尾にアルをつけていたのだがたまに語尾を忘れたりとかしていた為辞めたらしい

下ネタに寛容

中学生の時、道に迷っていたところ絵羅に助けられその後友達になる

ファンネーム：ねっ子

尾丸ポルカ 種族：獣人（フェネック）

サーカス団の団員

サーカスの団員らしくエンターテインメントにとんだ配信をしており持ち前の明るさでリスナーを元気にしていく

絵羅とは絵羅がデビューする2日前に出会う

ファンネーム：座員

雪花ラミイ 種族：ハーフエルフ

雪国出身のハーフエルフ

雪の一族の令嬢である

テーマパークでねねの分を忘れてビール二本買っていたりするほどお酒が好き 雪月花というお酒をプロデュースした

夜道でストーカーに襲われそうになるが絵羅が助けた事で免れた
その後はたまにお酒を絵羅と飲んだりしている

ファンネーム：雪民

獅白ぼたん 種族：獣人（ホワイトライオン）

ミリタリー系のジャンルが得意でFPSが大の得意でたびたび出る
神エイムで視聴者を見惚れさせる程の腕前

絵羅とは小学一年生の頃からの大親友で良く遊びに行ったりFP
Sでの1on1をしたりと色んな遊びをしている

ファンネーム：SSRB

絵羅「んでそれぞれ何買うの？」

ぼたん「私はお菓子とか買える値段だったらエアガンとか買いた
い」

ねね「ねねはお菓子とか：とにかく色々な物買いたい」

ポルカ「私はねえー シャンプーとかボールペンやお菓子買う」

ラミイ「ラミイは：お酒とおつまみとマウスパッド買いたいな」

絵羅「俺は特にない」

最初に行ったのはイオンである

絵羅「相変わらず品揃え豊富でエアガンコーナーやら日用品コー
ナーやら電化製品やらペットシヨップやら色々あるな」

ラミイ「結構欲しいと思ったもの売ってるもんねー 重宝してる
よ」

ぼたん「それじゃあエアガンコーナー行ってくるね」

絵羅「了解ー」

ぼたんはエアガンコーナーへ

ポルカ「先に何買う？」

絵羅「まあ、普通にお菓子だな」

ねね「それじゃあ行こう！」

お菓子売り場へ

ねね「何買おっかなー♪」

ポルカ「チョコレート類は最後に選ぼうぜー」

ラミイ「その方がいいかもね」

ねぼらの3人はお菓子を選り中

絵羅は明日買うものを予めメモしている

絵羅「んーと お肉で…刺身…：…玉葱…：人参…：葱…と」
メモし終わり振り向くと

???「あつ…」

絵羅「…」

魔乃アロエがそこにいた

絵羅「…ひ、久しぶり」

アロエ「う、うん」

魔乃アロエ 種族：サキユバス

元ホロライブ5期生

魔界の住人で歌姫を目指している

とある理由で1年前にホロライブを辞めた

最近は何人で活動中（本小説独自設定）

ファンネーム：魔の友

アロエ「…元気そうでなりよりです」

絵羅「すこぶる元気だぜ」

アロエ「あの時はほんとにごめん…」

絵羅「ああ、あのことか、いいよ 過ぎたことだしな」

ホロライブを辞めてから半年たった頃 配信に遅刻しそうになっ

てる時曲がり角で歩いていた絵羅と激突

絵羅がバランスを崩し倒れた際 アロエも倒れ唇と唇がふれあい

2人にとってのファーストキスをしてしまう

あれ以来会ってはいなかった

アロエ「じ、じゃあ私も気にしないようにする…」

絵羅「配信頑張れよ」

アロエ「あ、ありがとう…で、では…」

アロエは去っていった

絵羅「…：…戻るか」

お菓子コーナー

ねね「買うお菓子全部決まったよー」

絵羅「おうよ」

お菓子購入完了

ねね「ところで誰かと話してた??」

絵羅「魔乃アロエ」

ねね「なーほーね」

ポルカ「買って来たぜー!」

ポルカ「ボールペン シャンプー購入

ラミイは飲むお酒を選んでいる

ぼたん「特に欲しいもんなかったわー」

絵羅「そうか」

ラミイ「じゃあこれ飲もー」

お酒、おつまみ購入

マウスパッドは買わずに買い物を終了させ絵羅は全員を送って
いく事にした

ラミイ宅

ラミイ「今日はありがとう ばいばーい」

絵羅「その酒の感想聞かせろよな」

ラミイ「はーい」

ポルカ宅

ポルカ「今日はいいい買い物ができたぜ!」

絵羅「1日に食べる個数はちゃんと考えろよ」

ポルカ「絵羅は私のオカンかw」

絵羅「はははw」

自分用のお菓子を持ち帰る

ねね宅

ねね「楽しかったよー 待ったねー!」

絵羅「おうよ!」

ぼたん「やー 今日収穫無しだったなー」

絵羅「そんな時もあるだろ 俺は明日買うものはメモしておいた
ぜ」

ぼたん「昔つかから買いたいものはメモってるよなー 小学何年生の

頃からその癖ついたんだっけ」

絵羅「昔欲しいガンプラあつたんだけど当時高いから買えなかったから欲しいガンプラ片っ端からメモっててそれだったら欲しい物をどんどんメモっていきうかなって思ったんだよな」

ぼたん「あー いい心がけじゃん」

絵羅「でしょー…：…ん？」

ぼたん「どしたん？…あつ、アロエちゃん」

アロエ「ししろん…：久しぶり」

ぼたん「元気してたー？」

アロエ「うん、元気してたそっちは？」

ぼたん「元気100倍たぞ！また今度遊ぼうな」

アロエ「うん」

ぼたん帰宅

絵羅「…」

アロエ「…」

絵羅「家送ってやろうか？」

アロエ「え、えといいの？」

絵羅「だってもう7時だぜ？さすがに送っておかないと危険かなと」

アロエ「優しいんだね」

絵羅「お人好しとも言われたけどな」

2人で歩く

アロエ「そういえばホロライブ入ったんだね」

絵羅「おう いやー なかなか緊張した」

アロエ「確かに面接とか歌とかある程度歌えないと行けないしねがんばったんだな」

絵羅「うん♪」

アロエ宅

アロエ「送ってくれてありがとう」

絵羅「どういたしまして じゃあ俺はこれで」

振り向いて動く絵羅

アロエ「あ、一つだけ質問いいですか？」

絵羅「はいはいなんでしょ」

振りかえった後アロエの顔を見ると少し頬が赤い

アロエ「そ、そのさ……」

絵羅「うん」

アロエ「好きな人いるの？」

絵羅「居ないなー 恋愛対象として見る要因が自分でも分かってないんだよなー だから恋愛対象として好きな人は居ないよ」

アロエ「そうなんだ……」

絵羅「なんでこんな事を聞いたのか気になるんですが」

アロエ「それは……その……」

絵羅「うん」

アロエ「……一目惚れした」

衝撃の一言

絵羅「……マジ……？」

アロエ「マジ」

絵羅「そ、そうか」

アロエ「あ、えと」

絵羅「……友達からまずは始めよか お互い知らないし」

アロエ「あ、それもそうだよね うん」

絵羅とアロエはお互いの番号を教え合う

アロエ「じゃあ バイバイ」

絵羅「おう」

アロエ帰宅

絵羅宅

絵羅「たでーまー」

おかゆ「おかえりーん♪」

抱きつくおかゆ

絵羅「なんだ？今日は甘えたい日か？」

おかゆ「うん♪お風呂一緒に入ろーよー」

絵羅「水着着用でな」

おかゆ「おけー」

たまにおかゆは甘えたい日がある

その日はとことん甘やかせる絵羅

もはや夫婦と同じぐらい仲がいい2人だけど付き合っていない

その日は一緒に寝た

第3話 恋愛について考える蒼井絵羅

絵羅「……恋愛かぁー」

魔乃アロエに告白された日から絵羅は恋愛について考えていた
生まれてこの方20年、彼女が居ない+告白したことないのでそも
そも恋愛について考えることがなかったのである

絵羅「好きとは言われたが……ふむう……」

えーちゃん「どうかしました?」

絵羅「あー、実はねー」

えーちゃんに事の経緯を話す

えーちゃん「アロエさんから告白されたその日から恋愛について考
え出したんですね……」

絵羅「そうなんだよねー 好みのタイプはあるけど……」

えーちゃん「どんなタイプ?」

絵羅「そうだねー優しくて気配り出来て……うーん 性格が良い子」

えーちゃん「それが理想のタイプ……と」

絵羅「理想はそうだけど……あくまで理想だしな」

えーちゃん「まあ大いに悩めばいいと思いますよ?自分の恋愛の価
値観なんて自分自身にしか分かりませんから」

絵羅「うん そうだね とりあえず自分なりの答えを見つけるよ」

えーちゃん「頑張っ♪」

絵羅「うん」

えーちゃん仕事に戻る

絵羅「家に帰ってから考えよう」

帰宅

絵羅「お?」

おかゆの靴以外に靴が2足あった

絵羅「ただいま」

おかゆ「おかえりー」

るしあ「おかえりなのです お邪魔してます」

ころね「よお!」

潤羽るしあ 種族：魔界人（ネクロマンサー）

元3期生 かくかくしかじかで3ヶ月前にホロライブを引退（という名の契約解除）

やってしまったと本人は思っているみたいで今回起こした事を反省して個人Vになってからは情報を流出させないように今まで以上に注意するようになった

初めて会った時から絵羅に「貴方は運命の人！」と言われた

たまに遊びに来てはゲームやらなんやらしている

ファンネーム：ふあんでつと

戌神ころね 種族：獣人（犬）

ゲーマーズ

人懐っこいワンワン 方言訛りが強い事で可愛さ倍増

笑い方は少し独特 きゃっはっははは、みたいな感じで

お散歩コースで歩いていたら時に通り雨が降り困っていたところを

絵羅に助けられてから絵羅との交流が始まった

ファンネーム：ころねすきー

絵羅「楽しそうにゲームしてるな」

ころね「絵羅もやるー？」

絵羅「んにや ちよつと考え事したいなど」

おかゆ「あー 先週の事？」

絵羅「うん」

ころね「何かあったの？」

絵羅「いやー女子から久々に告白されたから恋愛について考えてたもちらろるしあの言葉もまじえて」

るしあ「るしあのアレ覚えてたんだね」

絵羅「そりや☒貴方はるしあの運命の人！☒なんて言われたら告白

以外のなにもでもないよw」

るしあ「それもそうなのですw」

絵羅「まあとりあえず…やっぱり一旦考えるの辞めてゲームするわ」

ころね「やろやろー カービィのエアライドやるで」

おかゆ「おっけー♪」

2 時間後

るしあ「待って絵羅強すぎない??」

絵羅「小学2年からずつとやってるからなー 慣れてんのよ」

おかゆ「クリアアチエツカー見よ」

全モードクリアアチエツカー埋まっていた

ころね「ガチ勢やん!」

絵羅「まあね!」

るしあ「ではそろそろるしあは帰るのです」

ころね「こおねも帰るぞ〜」

絵羅「気をつけてな」

るしあ ころね「はい」

るしあ ころね帰宅

おかゆ「…」

絵羅「おかゆ?」

おかゆ「あ、なんでも……………1ついい?」

絵羅「なんだ?」

おかゆ「一夫多妻制が日本にできたら……………どうする?」

絵羅「え、そうだな…え、どうしよ あーでも…」

おかゆ「でも…?」

絵羅「最初に嫁になる人と相談かな 人数多すぎたら1人目の嫁と

イチャコラする時間減るし…」

おかゆ「まあ、そうだよね」

絵羅「とりあえず好きな人が出来たらおかゆにも教えるね」

おかゆ「ん 了解」

結局恋愛についての考えはまとまらなかったため

一旦恋愛については考えるのは辞めた絵羅であった

おかゆ「…………告白しなきゃな…」

第4話 彗星と巫女とシャチと鷹と事故

絵羅「ぬぬぬぬぬぬ」

ホロライブ事務所

何故か絵羅はそこでトランプタワーを作っていた

絵羅「あと少し……」

扉がバーン！開かれた扉の衝撃でトランプタワーが崩れた

すいせい「彗星の如くあらわ……あつ」

絵羅「……」

フリーズする絵羅

すいせい「………」

Y A B E っ て 顔 し て る

絵羅「すいちゃん……」

すいせい「あ、ごめん」

絵羅「そんな勢いよくドア開けたらぶっ壊れるかもしれないじゃん

!!ドアに優しくしろ!!」

すいせい「怒るところそこ!?!」

絵羅「そうだよ!!?!」

すいせい「…次からは気を付けるね」

絵羅「よし」

星街すいせい 種族：人間

個人勢↓S：gnai↓イノナカミュージック↓ホロライブ

ホロライブメンバーの中で屈指のテトリスの腕前を誇りホロライブでは最強の部類ではないかと個人的に思っている

言動が若干サイコパスなこともあるが基本的には元気で今では歌姫なんて呼ばれるぐらい歌が上手い

個人勢として頑張りイノナカミュージックに入りホロライブに加入し0期生として活動中

絵羅とはS：gnaiを辞めて3日後に落とし物を探していた時に出会う

電話番号とかを交換しあい度々遊ぶようになっていた

「ファンネーム：星詠み」

暇なので2人で神経衰弱をやる

すいせい「聞きたいんだけどさー」

絵羅「何？」

すいせい「なんでホロライブ入ろうと思ったの？」

絵羅「歌好きだしゲーム好きだし雑談好きだしなにより友達と話すのが好きだから まあ、それを言ったらにじさんじでも良かったんだけどね」

すいせい「ほむほむ」

絵羅「んで、にじさんじオーディションには3回ぐらい落ちた 上には上がいた で、次でオーディション落ちたら個人でやっていこうかなって思った時にたまたま出会ったYAGOOに初の男性Vtuberのオーディションやるから出てみる？って言われて受けたら合格したんだよね」

すいせい「じゃあYAGOOからの誘いが無かったらホロライブには入ってなかったんだね」

絵羅「うん だからYAGOOには感謝してる」

すいせい「すいちちゃんも何度もホロライブ落ちた後YAGOOにイノナカミュージック加入させて今では立派にホロライブやれてるからYAGOOには感謝だね」

絵羅「感謝の気持ち大事にしないとね」

すいせい「というわけで神経衰弱終わり！結果は？」

すいせいWIN

絵羅「だー！負けたー！」

すいせい「o(´・ω´・+o) ドヤア…！」

絵羅「でもあと1セット差だったのかあ」

すいせい「危ない危ない」

クロエ「お邪魔しまーす♪」

絵羅「邪魔するなら帰ってー」

クロエ「はーい…ってなんでやねーん！」

すいせい「良いツツコミだ」

クロエ「ありがとうございますー♪」

沙花叉クロエ 種族：獣人（鯨）

holoX（6期生）

秘密結社holoXの掃除屋

お風呂嫌いで1週間以上入らない事がざらにあつたが絵羅と出会ったことで2日に1回は入るようになった 本人曰く臭いと嫌われるからだという

絵羅との出会いは海で絵羅が足を吊った時に助けに行つたのが出会い

その1ヶ月後、廃墟にて仕事を終え絵羅を残存した敵だと勘違いして攻撃を仕掛けるものの返り討ちにあい絵羅にお仕事（始末）がバレるが絵羅はその事を何も言わずさらにはクロエを怪我はないか心配してくれた

その優しさに触れそして強い絵羅に惚れた

惚れたは惚れたが告白はまだ恥ずかしくて出来ていない

ちなみに絵羅はCCC（近接戦闘術）を学んでいたので対処出来たと後に語る

ファンネーム：飼育員

クロエ「神経衰弱やってたんだねー」

すいせい「そうだよー クロエちゃんもやる?」

クロエ「やるやるー…あ、絵羅さん明日のコラボよろしくねー」

絵羅「うん 楽しい配信にしよう」

ルイ「失礼しまーす」

みこ「なんかやってるにえ」

絵羅「みこちとルイ姉こんちつすー」

みこルイ「こんちつすー」

高嶺ルイ 種族：獣人（鷹）

holoXの女幹部

元ヤンキーで元ブラック企業にいた事がある

ホロライブメンバーの中でもかなり仕事ができる

その反面PONが多い時もあるのでかなり親しみやすい

絵羅とは絵羅がホロライブにオーディションを受けに来た時それ違つてあいさつした程度である

ファンネーム：ルイ友

さくらみこ 種族：人間

桜神社の巫女

自分はエリートだと言うものの実際にはポンコツがすんごく目立つため35Pからはポンコツエリート巫女なんて呼ばれてる

絵羅は一人暮らしする前は桜神社の隣に実家住みでみことは幼稚園時から交流のあるファースト幼馴染である（セカンドは獅白ぼたん）

ファンネーム：35P（みこぴー）

すいせい「人数増えたしババ抜きでもする？」

クロエ「ですなー」

ババ抜き開始…のだが

みこ「みこもう上がりそう」

すいせい「チートでも使ったかみこお!？」

みこ「バカが!もし出来たらマジシャンになつとるわ!」

すいせい「それもそっかー ごぺんごぺんwww」

みこ「なんかそれはそれでむかつくにえ…!」

絵羅「続きやんぞ…あ」

絵羅がみこのカードを引くため自動的にみこが1番目にあがる事になる

ルイ「…さすがにやり直しますか」

クロエ「そうだね…w」

ババ抜きやり直し

1位抜けはルイ

ルイ「お先でーす」

2位抜けみこ

みこ「やり直したとはいえ2位は良い位置だにえ」

3位抜けすいせい

すいせい「くっ　ルイちゃんに負けるのはいいがみこちに負けるのは納得いかねえ…」

みこ「運も実力のうちとはこういうことだにえ」

4位と最下位決定戦　絵羅VSクロエ

クロエ「負けてたまるかー」

絵羅「こつちだつて…」

顔をうかがいつつカードを選び…そして

クロエ「つしやー」

絵羅「ぐふああああああ！」

最下位は絵羅となった

絵羅「負けた…」

クロエ「やたー」

ルイ「楽しかったですねー」

みこ「久々に面白かったにえ」

すいせい「次は負けないからな！」

クロエ「今日はありが…」

クロエバランス崩す

絵羅「危ねえ…あつ」

助け入ったはいいものの足を滑らせて……

絵羅「むっ!？」

クロエ「んっ!？」

ルイ　すいせい　みこ「あつ」

絵羅がコケたところにクロエが倒れ込み唇と唇が触れてしまう

5秒くらいフリーズ

クロエ「っ！」

離れるクロエ

クロエ「ご、ごごごご…ごめんなさいいいいいいい!!!」

顔真っ赤にして走り去っていくクロエ

絵羅「……………」

すいせい「事故キスしちゃったねえ…」

みこ「まさか現実に起こるなんてえ…」

ルイ「これなんてラブコメ？」

むくりと上体を起こす絵羅

絵羅「…ファーストキス…だった…」

ルイ「あやー…」

絵羅「と、とりあえず帰るね…？」

みこ「う、うん」

絵羅帰宅

絵羅「ただいま…って誰もいないんだっけ…」

おかゆはゲームマーズと共に1週間旅行中

絵羅「まあでもただいま言うだけマシだからいいか…」

絵羅「明日コラボすんの気まず ってあれ？あ、ファーストキス

じゃねえ！ ファーストキスはアロエだわ 忘れてた…w」

クロエ宅

クロエ「あー！事故キスなんてー！明日会うの気まずいいい

！」

後日二人はコラボしたのだがキスの件でグダグダだった為事情を

知らないリスナーは何か気まずい事があったのかと思った

第5話 絵羅の気持ち「恋心」

絵羅「……恋愛について考え出して1ヶ月かあ……うん……やっぱりあいつが真っ先に頭に浮かんでしまう……もしかして恋……？夢にも出てくるし……」

おかゆ「……」

ブツブツ言ってる絵羅から離れておかゆは観察中

絵羅「そっか……そうだ……俺あいつのこと好きだったんだ」

おかゆ「っ」

自身の好きな相手が誰なのか……ようやく気づいたようだ

絵羅「するか……告白」

おかゆ「あ、まつ、待って……！」

絵羅「おかゆ？」

おかゆ「告白……しに行くの？」

絵羅「うん……」

今までにない真剣な眼差しに動きを止める

おかゆ「ずっと……ずっと言いたかったけど恥ずかしくて言えなかった事絵羅に言いたい！」

絵羅「うん 聞くよ」

おかゆと対面で話す

おかゆ「僕達1年生の時から知り合いじゃん？」

絵羅「そうだね 1年生の頃は獣人が珍しい方だったから虐められてたよな」

おかゆ「うん……」

人外が学校来んなよとかプールの時は毛が抜けるから入んなとか色々獣人として扱いが酷かった

それをみかねてクラス委員長であった絵羅が声を上げて自分達ももし獣人の立場でおかゆが言われた事を自分達に当てはめ考えろとそのおかげでおかゆ並びに1年生全体で獣人に対する虐めがたくさん減った

おかゆにとって絵羅はヒーローに見える4年生になった時自分の恋

心に気づいた

おかゆ「僕にとって絵羅はヒーローに見えた感謝しても感謝しきれないぐらい」

絵羅「そう…ふふ 良かった」

おかゆ「それで…ね？僕は…」

絵羅「…」

真つ直ぐお互いを見る二人 そしておかゆが口を開く

おかゆ「小学4年の時からずっと…ずっと好きでした…」

絵羅「……」

おかゆ「……………」

絵羅の答え

絵羅「おかゆの好きだって気持ちは分かった…けどおかゆのその告白には応じる事が出来ない 俺が好きなのは他に…」

おかゆ「……そっか」

絵羅「気持ちはすごく嬉しかった」

おかゆ「……」

目に涙を滲ませるおかゆ

おかゆ「振られた…か…でも、グスツ…告白出来て…良かった…」

絵羅「……」

おかゆ「…告白しにいきなよ」

涙を流しつつ言うおかゆ

絵羅「…行ってくる」

絵羅はリビングを出て電話しながら家を出た

自室に戻ったおかゆは振られた事をおばあちゃんに報告する

おかゆ「うん…でも告白出来たのは…良かった しないまま他の子と付き合ってたの知ったらおばあちゃん家に戻ってたかもね…うん 思いつきり泣くから切るね バイバイ」

電話を切る

おかゆ「でも悔しいいいいいいい!!!」

大粒の涙を流しながら枕を顔に押し当てながら泣くおかゆ

絵羅「……お待たせ……待った？」

ぼたん「今来たところ……んで、どういう呼び出し？」

絵羅が電話で話していたのはぼたんだった

絵羅「……かなり大事なこと」

ぼたん「そうか……聞くよ重要なことだからな」

絵羅「じゃあ単刀直入に……」

ぼたん「ん」

絵羅「獅白ぼたんに惚れました！好きです!!」

顔を赤らめながらハツキリと告白する絵羅

ぼたん「……私でいいの？」

絵羅「うん！優しくして気遣いできるしそして何より今まであったどんな女の子より可愛いと思ったから……このまま幼馴染で終わるのは嫌だったんだ」

ぼたん「……ありがとう」

抱きつくぼたん

絵羅「わ」

ぼたん「高校1年の時さ 私、痴漢あつてたじゃん」

絵羅「あつたなそんなこと」

高校に通い初めて3日、電車内で痴漢にあったことがあるぼたん

ぼたん「どんなに身構えてても実際に被害に会うと声出なかった」

絵羅「近くについて良かったよ ぼたんが助けて欲しそうにこっち見たから痴漢かなと思って正解だったね」

ぼたん「あれはガチで助かった そっからかな 絵羅を意識し始めたの」

絵羅「最初はそんなでもなかったってわけか まあ、俺もだけど」

ぼたん「2人揃って遅れて恋心に気づくってなんか 良いな」

絵羅「そう思うよ」

笑い合う二人

ぼたん「絵羅」

絵羅「ん？」

ぼたん「大好き」

絵羅「俺も」

五分ぐらい無言で抱擁しあう

抱擁を辞める

ぼたん「ねえ」

絵羅「おう？」

ぼたん「一夫多妻制が日本に来たらさ…私抜いて10人嫁に迎えても良いよ」

絵羅「ふふ ぼたんも同じ事考えてたんだな」

ぼたん「うん できるだけ幸せになれる人がいるんならそれに越したことはないからね」

絵羅「とりあえずその時になってみるまでどうするか考えないとね」

ぼたん「そうだね♪」

絵羅「それじゃ帰ろっか」

ぼたん「うん」

二人「ららいおーん♪ららいおーん♪二人は恋人♪ららいおーん♪」

ご機嫌な二人

微笑ましそうに見る二人の影

るしあ「ねえクロエちゃん」

クロエ「なんですかるしあさん」

るしあ「告白はほんと早めにした方が良いよ」

クロエ「ですね… 告白するだけしときますね」

るしあ「うんうん♪」

次の日クロエは告白して一夫多妻制が出来たら嫁の1人として迎える事をぼたんと絵羅に約束を取り付けた

もちろんおかゆにもその旨は絵羅から伝えた

その話をきいたおかゆは抱きついて喜んだ

第6話 ししえらの報告

絵羅「今日の配信ありがとうございましたー」

ぼたん「やっぱり幼馴染とするゲームは何倍も面白くなる！」

絵羅「だね！」

ぼたん「さて…ちよつと枠を変えてお話ししたい事があるので配信閉じます」

江良「22時に報告枠立てますので来れる人は来て欲しいです」

ぼたん「それでは！」

ししえら(ぼたん和絵羅のペア名)「おつあえー」

枠閉じたあと Twitterでは「なんだなんだ」と「悪い話？」と「もしかしてししえら結婚:!?」etc色んなツイートがあった

おつあえとはお疲れのおつと蒼井絵羅の蒼井のあ、絵羅のえを合わせた終了のあいさつである

ぼたん「緊張するー」

絵羅「祝福してくれる人は多そうだけどガチ勢というなの厄介勢が来るかもと思うと怖いな」

ぼたん「大丈夫大丈夫」などで

22時 枠を建てる

ぼたん「ららーいおん ららーいおん 重大報告 ららーいおん

♪

ししえら「ということでごんあえー!!!」

絵羅「で、ですね…一部の人のつては阿鼻叫喚かも知れませんw」

ぼたん「マジでそうなんよねw」

絵羅枠コメント欄「あつ:」「ははーん?」「え?マジ?」etc

ぼたん枠コメント欄「それ言ったら一択しかないやんけ!」

「ほああああ! (てえてえて爆発)」etc

絵羅「勘づいてる人複数いるみたいだね」

ししえら「それでは報告!」

ぼたん「私、獅白ぼたん!」

絵羅「蒼井絵羅は！」

ししえら「2日前からお付き合ってます！」

両方梓コメント欄「おめでどうおとお」

「そんな兆候見せなかったのに！」「推しと推しが…ふえへへ」

などなど驚き、祝福などコメントがくる

ぼたん「別に好きな気持ち隠してたわけじゃないんだけど私が好きになったの高校1年生からなんよね」

絵羅「俺は…とあるVから告白されてから恋愛について考えてたら途中でぼたんの事が頭から離れなくなってたんだよね 今更あ、俺ししろんの事好きだったんだなってだからその日の内に告白しておk貰ったって訳よ！」

ぼたん「ホントなら私から告白したかったけど言ってくれてほんとに嬉しくてさ…マジ嬉しくてえ…(泣)」

絵羅「男だしな…自分から言わないでどうするんだって…俺はぼたんの事好きだってな」

コメント欄「ししえらてえてえ」「珍しくぼたんちゃん泣いてる」「泣いてるぼたんちゃん可愛い」「幸せになれよ…(泣)」 e t c

ぼたん「泣いてるの可愛いとか ばかあ…(笑い泣き)」

絵羅「でも可愛い的事实だし…」

ぼたん「もおくく(顔真っ赤)」

コメント欄「あれ…ブラックが甘いコーヒーに…」

「二人の空気が甘酸っぱい」「この雰囲気良い…」 e t c

絵羅「どうやら俺ら二人の甘酸っぱい雰囲気にブラックなコーヒーが甘くなったようですwww」

ぼたん「あっカッカカッw」

絵羅「まあそんなこんなで俺達ししえらは恋人同士となったわけですわ！」

ぼたん「でも変わらずみんなには私や絵羅を応援してくれる事を願ってこの配信を終わります！」

ししえら「ご視聴ありがとうございます！おつあえ!!」

重大報告配信終了

絵羅「思ったより祝っててくれてたね」

ぼたん「良かった良かった」

絵羅「んで今日は泊まってくんだよね？」

ぼたん「うん おかゆ先輩気を使わせてころね先輩のところにお泊

まり行ったし：蜜月の時（意味深） 過ぎそうよ♪」

絵羅「いっぱい愛しちゃうぞ☆」

ぼたん「わー♥」

夜 蜜月の時（意味深） したとき

第7話 はあちやまクツキングー!

某日

はあと「絵羅せんぱーいーい!」

絵羅「元気だな後輩よ」

はあと「はあちやまはいつも元気ハイテンションオオオオン!」

赤井はあと 種族：人間

1期生

破天荒なアイドル

自分のシティブアートを見る配信をしたりタランチュラを食べたり洋楽オンリーの歌枠をしたりレパートリーが多い

絵羅とは中学2年生の時にはあとが中学1年生の時に会って
る

ファンネーム：はあとん

はあと「というわけで!来週の土曜日空いてます!」

絵羅「空いてるが配信のお誘いか?」

はあと「ご名答!で?返事はどうします?」

絵羅「いいぞ 来週の土曜予定空けとくわ」

はあと「わーい やっぱ持つべきものは先輩よねー!」

絵羅「はあ、調子がいいんだから全く」

そんな事を言ってる絵羅だが嬉しそうである

絵羅「つてことで来週の土曜夜ご飯いらないから」

おかゆ「おっけー メモっとくー」

ぼたん「つてか大丈夫なかな 変なもの食べさせられたりしない
よね…?」

絵羅「とりあえずタランチュラとかイナゴとかは食べるよ」

おかゆ ぼたん「えっ」

二人驚愕

絵羅「ん?どした?」

おかゆ「今サラツと言ったけど」

ぼたん「食べるの…?」

絵羅「え？そうだけど？」

おかゆ「実際にイナゴ食べる人いるんだ…」

絵羅「美味しいよ？今度食べる？」

ぼたん「遠慮しておく…」

ちなみに何故ぼたんがいるのかと言うと結婚を前提に付き合っているので絵羅宅に引っ越した

そしてはあちやまクッキング土曜日

はあ絵羅「はあちやまっちやまっ!!」

はあと「ワールドワイドの最強アイドル！はあちやまこと赤井はあ」とー!!」

絵羅「一人暮らししてた頃はバツタとかイナゴとかタランチュラ食べてた蒼井絵羅でーす!!!」

はあと「おおう、ここにゲテモノ料理好きおる」

絵羅「ゲテモノ料理大好き！なので今回の配信めっさ楽しみにしてましたー!!!」

コメント欄「まじかよおw」「ゲテモノ料理ガチ勢www」

はあと「食わなくなったのはやっぱりおかゆちゃん居候し始めたから？」

絵羅「そうだね おかゆが旅行とか行ってる時しか食べてないね」

はあと「先輩やつさしー！」

絵羅「まあね！」

コメント欄「えらおかてえてえ」「こういう男子と付き合いたい」

料理開始

絵羅は調味料とかをはあとは玉ねぎなどを切る

はあと「玉ねぎが目染みるー（>|<）」

絵羅「玉ねぎは冷やすとその涙が出る成分出来にくくなるのとあとは切れ味の良い包丁を使えば繊維をあまり壊さずに切れるから涙出ないようになるべ」

はあと「今度からそうするね！さすがせんp…このコラボだと絵羅君とリスナーの先輩かぶるから今日から配信中は絵羅君って呼んでいい？」

絵羅「構わんよ」

はあと「りよっかー!」

料理は滞りなく進み

絵羅「かーんせーい!!!」

はあと「いえーいー!!!」

タランチュラ入りスープと野菜炒めとご飯

絵羅「絵面やばw」

はあと「閲覧注意って入れてて良かったね」

絵羅「全くだ」

コメント欄「こいつらマジやべえwww」「クレイジーだぜ」

はあえら「いただきまーす♪」

実食!!

絵羅「あーエビですわ タランチュラとか聞いてなかったらエビと

錯覚してもおかしくない」

はあと「うんうん」

絵羅「ありがとな はあといいもん食べれたわ」

はあと「どういたしましてー♪」

食べ終わり

はあえら「ご馳走様でしたー♪」

はあと「美味しかったね」

絵羅「うむ またこういう配信やろうな」

はあと「うん!というこではあちやまクッキングどうだったか

なー?」

コメント欄「久々にゲテモノ料理見れて嬉しい」「またやって欲しい

w」

絵羅「コメント欄評価上々だな」

はあと「たまーにやろうか」

絵羅「うむ!」

はあと「今回ののはあちやまクッキングwith絵羅の結果は成功で

すー!次回もまた見てね!」

はあえら「まったねー!」

配信終わり

はあと「今回はほんとにありがとう先輩！」

抱きつくはあと

絵羅「いきなし抱きつくな　でもどういたしまして」

はあと「ねえ　先輩……」

絵羅「ん？なんだ……？」

はあと「折り入ってお願いがあるの」

絵羅「別にいいけど……なんだ？ハーレムに入れて欲しいとか……？」

はあと「えっ、なんで分かったの？」

絵羅「当たってるんかい」

はあと「あつ……しまったあ……」

絵羅「別に大丈夫だよ」

はあと「ぼたんちゃんいるのに!？」

絵羅「まあ、一夫多妻制が日本に導入されたらの話だぞ」

はあと「たぶらかし？」

絵羅「そう言われるとなんも言えねえ」

はあと「まあでも？一夫多妻が導入されたら入れてくれるんだよね

ならいい……のかな」

絵羅「ぼたんもそれで良いと言ってるし良いぞ」

はあと「じゃあ！そうなった時はよろしくねっ！」

絵羅「いいぞ」

6人目　赤井はあと↓new

第8話　さんばかwithししえら

獅白ぼたんと蒼井絵羅は休暇をとり旅行中

今はししえらじゃなくてヘルエスタ王国にいます

絵羅「まさかV最協終わったあととべにちゃんに告白されるとは思ってたよ…」

ぼたん「私も完全にノーマークだったよ」

休暇を取る2日前V最協が行われ蒼井絵羅と八雲べにと歌衣メイカの3人（あべつか）で協力して戦い9位だった

V最協の後一人呼び出された絵羅は八雲べにに告白された

前々から告白しようとは思ってたらしくししえらのお付き合ひ報告は衝撃だった

現在7人目の嫁さんとなる

八雲べに　種族：人間

ぶいすぽ所属

セクシー枠……まあ、半分お笑いセクシー枠感はパない

絵羅とはえぺまつり外伝で出れなくなった白雪レイドの変わりならっただあチームに入ったことがきっかけで交流するようになった

この時絵羅はまだ個人勢である

ファンネーム：しもべに

絵羅「これで美人系の嫁さん一人出来たな」

ぼたん「私は何？」

絵羅「可愛いよりの美人」

ぼたん「へへっ♪」

目的地に到着

駅近くの蕎麦屋さんで食事を取る二人

店員「ごゆっくりー」

絵羅は特盛蕎麦　ぼたんは普通の量の蕎麦

ししえら「いただきます」

ぼたん「絵羅ってほんと見かけによらずめっちゃ食べるよね」

絵羅「太りにくい体質って医者から聞いた事あるぞるΨ（、）

☆」

ぼたん「羨ましい」

絵羅「運動もちゃんとしてるしバランスの良い食事心掛けてるからね」

ぼたん「ほーん」

蕎麦食べ終わり外に出ると

アンジュ「あ、おーい」

絵羅「あ、ンジュ」

アンジュ「久しぶりだなあ 前のコラボ以来か？」

絵羅「そうだねえ」

ぼたん「ええと確か……アンジュ・カトリーナさんだったっけ？」

アンジュ「そう 私こそが公式美少女錬金術師アンジュ・カトリー

ナダ（、ーωー）？」

アンジュ・カトリーナ 種族：人間

にじさんじ所属公式美少女（自称）錬金術師

絵羅とは同じタイミングでオーディションを受けていた

ファンネーム：賢者キッズ……もといFCL（意味 フル〇〇リスナー）

アンジュ「あ、つてかデートだった？」

ぼたん「うん」

アンジュ「すまんー！」

ぼたん「気にしてないから大丈夫っすよ」

絵羅「うん」

アンジュ「ならいいんだけど」

リゼ「あ、アンジュいたいたー」

とこ「お待たせ」

アンジュ「いにゆい、リゼー」

リゼ「あ、お久しぶりです 絵羅さん」

とこ「久しぶり絵羅はんー」

絵羅「お久しぶりでござるー」

リゼ・ヘルエスタ 種族：人間

にしさんじ所属 文武両道人望ゲキアツプリンセス
しz：ヘルエスタ王国の第二皇女
アンジユとは幼馴染

絵羅とはさんばか with 蒼井絵羅コラボで出会う

ファンネーム：ヘルエスタ王国民

戌亥とこ 種族：ケルベロス

にしさんじ所属 公式つよつよケルベロス

喫茶店で働くケルベロス

髪飾りになってるのはバンとケン

リゼと同じく配信コラボで出会う

ファンネーム：決めてない

リゼ「服：かっこいいですね」

とこ「いつもと違う感じでええね」

絵羅「褒められたー♪」

アンジユ「じゃありゼ達来たからこれで」

絵羅「あ、じゃあ最後に」

とこ「ん？」

絵羅「一夫多妻制が日本に出来たらお嫁さんをぼたん入れて11人
迎える予定です 後4人枠空いてる」

アンジユ「マジかよ」

リゼ「モテてるなあ 絵羅さん」

絵羅「(？・・ω・？)？ドヤア」

アンジユ「：ハーレムだと…!？」

とこ「えらい事しよるなw」

絵羅「2人で決めたからな まあ、それだけ伝えたかった」

さんばか「じゃあバイバイ」

ししえら「へいよー」

さんばか別の場所へ

絵羅「さてデートの続きと参りますか！」

ぼたん「おー！」

リゼ宅

リゼ「…いい事聞いたね アンジユ」

アンジユ「お、おう」

とこ「歯切れ悪いね」

アンジユ「いやー私がハーレムに入ってもなくって思ってたよ
ね」

とこ「絵羅だったら迎え入れるよー」

リゼ「そうだよ アンジユ、歳のわりに可愛いから」

アンジユ「一言余計ですー！…お願いしてみるか…」

リゼ「ちゃんと告白しなよ？」

アンジユ「ん…」

それからアンジユが告白したのは2ヶ月後であった

第9話 歌姫

某日の配信

絵羅「配信じゃあー!! って事でこんあえー! 超絶可愛い男の娘! 蒼井絵羅です! 今日には歌枠配信という事でタイトルに書いてある通りゲスト二人迎えてお送りいたします!」

AZKi「こんあずき AZKi です!」

そら「みんなー! 元気ー? ときのそらです!」

絵羅「ホロライブを見始めたのそらちゃんとAZKiちゃんの歌の聖少女領域を知ってからなんだよね」

AZKi「そうなんだ」

そら「嬉しいね」

絵羅「そんなホロライブを知るきっかけとなった2人と一緒に歌えるのは嬉しい限りなのです!」

ときのそら 種族：人間

0期生

まだホロライブプロダクションになる前のhololive時代からいるホロライブ初期メンバー

歌が得意で歌ってみたやオリジナル曲を投稿したりしている

絵羅とは握手会で会った程度

ファンネーム：そらとも

AZKi 種族：人間

カバー所属↓upd8↓イノナカミュージック↓ホロライブ

ホロライブができる前からカバーに所属しておりupd8に加入

イノカナミュージック(ホロライブ)に入ってからもupd8が活

動終了するまで所属し続けた

そしてイノナカミュージックのプロジェクトが終了した後はホロライブ0期生として移籍した

絵羅とはときのそらと同じく握手会で会った程度

絵羅の歌声に惚れぼれしている

ファンネーム：開拓者

AZKi「絵羅君と配信するの密かに狙ってたんだよね 歌結構良
い声してたし」

絵羅「ほつめられたぁー♪えへ」

そら「そんな喜んでる絵羅君可愛いね」

絵羅「〇(・ω・+〇) ドヤア…!つてな訳で歌って行きましょ
うか 今回は1時間30分ぐらいの配信となります 最初は…気ま
ぐれメルシイです」

あつという間に1時間経過

そら「1時間ってほんと早いよね まだまだやりたいよ」

AZKi「スケジュールが空いてれば行けるかもだけど絵羅君は
？」

絵羅「ししろんととのデートがなければ大丈夫」

そら「相変わらずラブラブだよねえ 羨ましい」

絵羅「幸せ者ですよ 僕 フフツ」

25分経過

絵羅「締めのお時間が近づいてまいりましたのでそろそろ終わりで
すね」

AZKi「あつという間だったね でも凄く楽しかった」

そら「うん また配信やろうね」

絵羅「そうだね それではみなさーん！」

3人「お疲れ様でしたー!」

コメント欄「良い歌だった」「このメンバーで歌ってみた出して欲し
い」

配信終了

AZKi「そうだ 今日の夜、焼肉きんぐ食べに行かない?」

そら「唐突だね」

絵羅「ぼたんもおかゆも友達と外食行ってくって行ってたし行きたい」

そら「私も外食にしよ」

AZKi「決まりだね☆」

絵羅「んじやあ車持ってくる」

そらあず「はーい」

待っているそらあず

そら「ねえ あずきち」

A Z K i 「何ー?」

いろはす飲んでるA Z K i

そら「絵羅君の事恋愛対象として見てるでしょ?」

プロレスの毒霧みたいな事になるA Z K i

A Z K i 「ケホツ き、急に何を言うのかね!」

そら「だつて絵羅君への態度が他の男性より甘いからさ そうなのかなーって思ってたんだけど違う?」

A Z K i 「その歌声が好きなのであつて恋愛対象として見てるかはそうではないよ?」

そら「ほんとかなー(。ー▽ー)」

A Z K i 「そうだよ!」

そら「そういう事しておくね☆」

A Z K i 「絶対疑ってるー」

そら「そんな事ないよー」

絵羅「そらあずの二人お待たせー」

絵羅の愛車は三菱 ランサーエボリューション V I I G T I

A (ディープブルーパール)そしてマニュアル車

A Z K i 「かつこよ……」

そら「こういうの乗ってるんだー」

絵羅「一目惚れってやつっすね 前から乗ってみたくてですね

買ったちましたわ」

A Z K i 「思いつきりはいいですよー♪」

焼肉きんぐに食べに来た

絵羅「配信お疲れ様でした」

そらあず「お疲れ様でしたー!」

絵羅「好きな物注文していいよ 奢る」

そら「お金の方は大丈夫?」

絵羅「今のところはまだ大丈夫」

そら「じゃあお言葉に甘えて奢って貰おう」

カルビ：肩ロース：リブロース：シャトーブリアン e t c を頼む
3人

絵羅「焼き加減はどうする？」

そら「んー特にこだわりないから絵羅君の焼き方でいいかな」

A Z K i 「私もそれで」

絵羅「了解」

食事を楽しみ：値段もそこそこかかったが奢りそらあずの二人を
送って行く事にした

車内

A Z K i 「ご馳走様でした 美味しかったね」

そら「うん たまには焼肉行くのいいかもね 絵羅君の焼き方も良
かったし」

絵羅「ししろんとかおかゆで慣れてるからねえ それでかも」

A Z K i 「なるほど」

絵羅「ちなみに今回はししろんの焼き方でやってた」

A Z K i 「美味しいわけだね」
ときのそら宅

そら「送ってくれてありがとうー また会おうね」

絵羅「はーい」

A Z K i 宅

A Z K i 「今日はお疲れ様でした ありがとうね」

絵羅「楽しかった」

A Z K i 「そっか♪じゃあまたね」

ほっぺにちゅってする A Z K i

絵羅「お、おう／＼」

A Z K i の思いがけない行動に顔を赤らめる絵羅だった

A Z K i 「大胆にほっぺにちゅってしまった：恥ずかし」

自分がやった事を恥ずかしがる A Z K i だった

第10話 ぶいすぽっ！お泊まり会 with おかえら

べに「せーの！」

のあ べに ひなの 絵羅 おかゆ リサ「おはまるー！」

ひなの「橘ひなのです！」

のあ「胡桃のあです！」

リサ「英リサです！」

べに「八雲べにです！」

おかゆ「ぶいすぽっ！お泊まり会なのに何故かいる猫又おかゆです！」

絵羅「ぶいすぽっ！お泊まり会なのに俺の家でお泊まり会を開催されている絵羅でーす！」

橘ひなの

ぶいすぽっ！のメンバー

左が黒 右がピンクの不思議な髪色をしている

さすがにピンクの方は染めている

絵羅との初コラボはオールガイズでその時の配信にてオールガイズの配信台パンした

ファンネーム：ひななー

英リサ 英語の英と書いてはなぶさ

ぶいすぽっ！のメンバー

食べ物の話になると目を輝かせる

結構な頻度で独特な笑い方をする

それで良く絵羅はゲラることが多くなる

絵羅との初コラボはAPEX

ファンネーム：英東

胡桃のあ

ぶいすぽっ！のメンバー

可愛い声や大人な声など声色が広い

ちよつと抜けてる所がある

絵羅との初コラボはAPEX

ファンネーム：#963fam

コメント欄「異色のコラボやん」「ほんとになんでだよwww」

べに「まあ家がお隣さんだからですね のあちゃんの」

のあ「そうなんですよー お隣さんだったのです」

絵羅「判明したのはそらちゃんとAZKiのコラボの打ち上げ後
だった」

回想

そらあずとコラボした打ち上げの後

のあ「あれ…？ここどこ…？」

家に帰ろうとしていたのあなのだが慣れない土地で迷ってしまっ
ていた

のあ「襲われたらどうしよ」

とりあえずコンビニに行く のあ

コンビニから出てきたのは絵羅

絵羅「あれ？のあちゃん？」

のあ「絵羅君だー」

絵羅「こんばんみー」

のあ「こんばんみー」

絵羅「なんか買いに来たの？」

のあ「引越したばかりだから道に迷った」

絵羅「…もしかして屋根が藍色の家ってのあちゃんの家なん？」

のあ「なんで知つとんの？」

絵羅「俺の家 のあちゃん宅のお隣だもん」

のあ「なんとー」

絵羅「送ってくよ」

のあ「ありがとー」

回想終わり

絵羅「つてことがあった」

おかゆ「住まわせてもらった当初なかなか道分からなかったな 懐

かしい」

べに「ん?」

絵羅「どしたん?」

べに「住まわせてもらったとは??」

絵羅「あれ?プロフィールに家の同居人の欄におかゆの名前とぼたんの名前書いてあるんだけど見てない?」

リサ「えっ」

蒼井絵羅 プロフィール

同居人の欄 猫又おかゆ 獅白ぼたん

ひなの「マジで書いてある!!?」

リサ「ぼたんちゃんとは分かるけどおかゆさんはなぜ?」

絵羅の配信を見に来たぶいすぽリスナーはザワつく

絵羅「個人勢…1年目ぐらいにおかゆが引越すから俺の家に住まわせろーってな」

おかゆ「信頼できるしーって思ってたねー」

ひなの「女を誑かすプロですか…??」

絵羅「否定出来ないな」

おかゆ「うんうん まあ、絵羅って優しいから怒るとめっちゃ怖いけど」

絵羅「前におかゆに限定プリン食べられた時はもう激怒だったわ」

おかゆ「恐ろしすぎて泣きましたw」

ひなの「そうなんだ…」

絵羅リスナー「そんな怖いのか」「見てみたいけど多分泣く」

おかゆ「つてなわけ絵羅を怒らせるのはメツだよ」

べに「おk」

ひなの「絵羅の一人暮らしエピソードとか聞きたいな」

絵羅「んー 1番は…昆虫食に目覚めたぐらいかな 一人暮らし始めて2ヶ月ぐらいでハマり始めた」

のあ ひなの リサ「虫食べるの!?!」

べに「そういえば言ってたね」

コメント欄のぶいすぽリスナー「虫を食べるのか(困惑)」「想像し

ただけでもやばいっ！」

絵羅「タランチュラとかイナゴとか幼虫とか：調べるとAmazonで売ってるよ。もしゲテモノ料理好きがいるのでしたら買ってみてはいかがでしょうか」

おかゆ「ちなみにゲテモノ料理配信後。タランチュラやイナゴが売り切れなんてことも起こりました」

べに「ヤベー奴ばっかり」

絵羅「ちなみにタランチュラはエビみたいな味します。タランチュラって言わなかったらエビと錯覚すること間違いなし俺がそうでしたwww」

のあ「へー」

べに「じゃあ二人暮しなって失敗した事」

おかゆ「特に……あ」

絵羅「おかゆが風呂に入ってるの気づかなくてラッキースケベしたわ」

おかゆ「お互いはわああー?!?!?ってなったねwww」

べに「漫画かよw」

絵羅「あの後は土下座した」

おかゆ「許した」

リスナー「許したw」「由々しき事態」「羨ましい」

のあ「定期的もしくは不定期にやってることは?」

おかゆ「僕は不定期に絵羅に甘えたりするよ」

絵羅「俺は1週間に1回は昆虫食を食べる。尚、おかゆとぼたんが居ない時に」

ひなの「例えば?」

おかゆ「絵羅に抱きついたり：気の済むまで頭撫でて貰ったり……」

コラボメンバーやリスナーにとって最もザワついた質問の答え

おかゆ「一緒にお風呂入るとかね」

絵羅とおかゆ

以外の全員「リスナー含む」「えっ:?!」

絵羅「確かに入るな…水着着用でな」

おかゆ「あ、ごめん皆 水着着て入ってるって言うの忘れてた」
べに「そ、あ!そういう事ね!」

リサ「だっはあはっはっ!」

ひなの「驚かせんなっ!www」

リスナー「それでもお風呂一緒に入ってるのはあかんのでは?」

「プールに入ってるようなもんだからセーフ!」

ころねもコメント「許すまじ…」

絵羅「ころwwさん」

おかゆ「好きな人と一緒にお風呂入るの心地いいよ」
のあ「ん?」

ひなの「好きな人?」

べに「絵羅の事大好きだもんね」

おかゆ「うん」

ひなの「なんで知っ…てるの?」

べに「私も絵羅が好きだから」

リサ ひなの のあ リスナー「エエエエ!!!」(。ロ。ノ)ノ

のあ「衝撃な事実っ!」

べに「いつの間にか好きになってたんだよね」

おかゆ「僕は小一からの付き合いで昔は獣人が珍しくて虐められて
て絵羅が助けてくれてね で、お話とかそういうのをしているうちに
好きになった 告白したのは絵羅がぼたんちゃんに告白する前にし
てた」

べに「私はV最協の後に告白した しないままはヤダだったしね」

のあ「ほえー」

絵羅「そうだねえ」

リスナー「今知ったよ…」「ガチイ!?ほえー」

そして配信は終了し少し談話、のあ ひなの リサ べには客室に
ある寝室でおかゆは絵羅のベッドで寝た

第1話 新人とメイドとおつとり悪魔

ある日の正午頃

絵羅「あつついー」

ぼたん「こんな時に限ってエアコンぶっ壊れるなんて……」

おかゆ「扇風機が唯一の救いー」

絵羅の部屋のエアコンがぶっ壊れた状態でゲームする3人

ぼたん「でもゲーム辞められないんだけどw」

絵羅「ほい 麦茶」

おかゆ「あざーす」

絵羅のスマホが鳴る

絵羅「あ、つなちゃんだ」

猫汰つな 種族：人間

ぶいすぽっ!の新メンバー

○○ペックスがお得意

デビューしてから初の○○ペックス配信にてラストに絵羅と偶然
マッチングしたのが交流のきっかけとなる

ファンネーム：つな友

回想

つな「これがラストマッチだー 頑張るぞ」

マルチメンバーが決定しその中に蒼井絵羅の名前が出た

つな気づかず

つな「よろしくお願いします!」

絵羅「よろしくクリキントン」

つな「クリキントンww」

コメント欄「え?!」「絵羅さんやんけ!」

絵羅「あ、やっぱりコメント欄ザワついでる」

つな「私のリスナーさん……?」

絵羅「いやぶいすぽ新人さんエペやってるなーって見に来てただけ
ですね ベにちゃんには世話になつとるんで」

つな「……あ!もしかして蒼井絵羅さん!」

絵羅「正解」

つな「嘘！気づいてなかった！」

絵羅「はは」

回想終了

ぼたん「……誰よ！その女!!？」

絵羅「猫汰つなさんだよ 最近知り合ったばかりってことで電話出るね」

電話出る

絵羅「はい しもしも？」

つな「なんでもしもしもなんですかモシモシじゃないんですか」

絵羅「なんとなく それはそれとしてどしたん」

つな「えーとですね 直球に言いますと」

絵羅「なんでしょ」

つな「どっか遊びに行きませんか？暇なんですよ」

絵羅「ゲーム以外やることないから良いよ」

つな「では、イオン集合で良いですか？」

絵羅「それで行こう」

つな「了解です。では！」

電話終わり

絵羅「つてことでつなちと遊んでくるわ」

ぼたん「浮気すんなよー」

絵羅「しないからな!？」

ぼたん「うそうそ 信頼してるから行ってらっしゃい」

絵羅「ふっ 行ってきます」

イオン前

絵羅「おつまませー」

つな「やほー…えっ!？」

私服姿を見たつなビックリ

絵羅「何を隠そう女装子なんです 俺」

今の服装はゴスロリ

つな「そ、そうだったんだね」

絵羅「んで？どこ行く？」

つな「ゲーセン行こ」

絵羅「りよっか」

ゲーセンに行った2人

ロリータファッションに驚く人もいれば絵羅リスナーはいつもの事なので挨拶したりする

つな「慣れてる人は慣れてるんだね」

絵羅「そうだね 女装もそうだけどロリータファッション着てるのは俺のリスナーならいつもの女装だつて思うだろうな」

つな「なるほど」

レトロアーケードが並ぶ中でガンダムのガンシューティングを見つける絵羅

絵羅「これやろうぜ」

つな「ガンダム…のガンシューティングだー 名前しか知らないんだよねガンダム」

絵羅「興味持ったらオススメガンダムアニメ教えるよ」

つな「うん その時はよろしくね」

ガンシューティングを始める2人

つな「案外むずいっ」

絵羅「自分で構えるからねえ ちよいムズいんだよな」

慣れた様子で動く絵羅

つな「その服着て動けるんだね」

絵羅「慣れたもんよつと！」

周りの人達「ゴスロリの男の娘強…」「女の子も強…」

そしてゲームクリア

絵羅「楽勝」

つな「ほとんど足引つ張ってたなあ…さすが絵羅さん」

絵羅「3日に1回はやってたからだいたい分かってる」

つな「かっこよ…」

ゲームセンターを出てカフェ

店員「あの もう満席なので相席になっても構いませんでしょう」

か」

絵羅「全然大丈夫です」

つな「私も」

店員「ありがとうございます」

案内された席には

パトラ「およー？絵羅君だー」

たまき「なぜご主人様ここに!？」

絵羅「パト姉にたまきじゃーん いや、カフェに行こうって話して来ただけやで」

周防パトラ 種族：魔界人

可愛い可愛い魔界人

ASMRに力をとでも入れておりそれ用にスタジオを建てるほど

黒D i o白D i oも沢山 環境音入れるため実際に外で撮るなど
本気

絵羅の初外部コラボ相手

ファンネーム：わんちゃん

犬山たまき 種族：獣人（犬）

のリプロ所属

可愛らしい見た目をした男の娘

交流はたまきからのコラボ対談を持ちかけられた頃から

ファンネーム：たまきんズ

パトラ「あれ？その子は？」

つな「ぶいすぽ新人の猫汰つなです」

パトラ「周防パトラです よろしくね」

たまき「犬山たまきだよ！」

絵羅は特大パフェを つなは普通のパフェ

パトラはいちごスパゲッティ たまきはホットケーキ

たまき「いちご……スパゲッティ？」

パトラ「どんなものかちよつと挑戦したくなった」

つな「そんなのあるんですね……」

絵羅「好き嫌い別れるな」

いちごスパゲッティが来た

パトラ「いちごのモンブランと思えば行ける気がする」
食べてみだ

パトラ「???」
「? 」

たまき「ど、どう?」

???”??”??”??”??”

パトラ「結構美味しい」

つな「今度私も食べてみ……ふあっ」

絵羅が頼んだパフェの量がエグかった

絵羅「やっぱりこれだね」

つな「た、食べれるの?」

絵羅「それはもうぺろりと」

たまき「ご主人様すつご……」

皆食べ終わり

全員「ご馳走様でした」

会計はパトラが全部出した

たまき つな絵羅「ゴチになります」

パトラ「いいって事よー あ、そうだ 3人には来て欲しいところ

があるんだけど……いい?」

たまき「まだ時間余ってるしいいよ」

つな 絵羅「たまき(さん)と同じく」

パトラ「じゃあ行こ」

着いたのは展望台

たまき「おー いい景色」

絵羅「あー ここかー 良く来るよここ」

パトラ「そうなんだ」

絵羅「それにここ弟の千賀とみこが告白した場所だ」

たまき「確かにこのロケーション告白にはピッタリだ」

絵羅「……1つ告白するね」

たまき「ナーニ?」

絵羅「実はハーレム作ってる」

3人「えっ!」

当然びつくりする2人

絵羅「もちろんししろんと一緒に考えた結果だよ」

たまき「ご主人様は何人嫁にむかえるの??」

絵羅「11人」

つな「そのうち何人は決定してるの?」

絵羅「ししろんも含めて8人目だね」

たまき「ほーん」

絵羅「金銭に余裕出来たら増やすかもだけど……今は断言出来ない」

たまき「……でも僕は対象外だねえ 僕、ご主人様の事好きなのに」

絵羅「確かに嫁という部類に入れないからなあ……」

つな「待ってたまきさんって絵羅さんの事好きなの?」

たまき「そう!一目惚れってやつ!」

つな「なるほど」

少し談話した後

パトラ「それじゃそろそろ帰ろっか」

つな「はーい」

つな以外帰宅

つな「……」

絵羅「……言いたい事があれば言えよ」

つな「実はね……一目惚れしてたんだよ絵羅さんに最初は容姿がドストライクでね んで実際に話して……今日は色々カッコイイ所も見せてくれたし……さらに好きだって想いがおつきくなってた だか
ら……私もハーレムに迎えてくれる?」

絵羅「もちろん 歓迎するぜ あ、ハーレム作るとは内密にな

たまきとパトラには言っちゃったけどな」

つな「でもあの2人は口外しなさそう」

絵羅「信頼してなかったら言わねえよ」

つな「それもそうだね」

2人で笑いあう

つな「それじゃまた誘うね！」

絵羅「おけ」

2人「ぼいはーい」

お互い帰路についた

第12話 大乱闘スマッシュホロOX

猫汰つながハーレムに加わった4日後

絵羅「こんえら 今日はずね h o l o Xのメンバーと共にゲームをやるというのでした。クロエとルイ姉が共に風邪を引いてしまったので風間いろはとラプラス・ダークネスと博衣こよりと共に大乱闘スマッシュブラザーズスペシャルやっていきたいと思いまーす！」

4人「いえー！！」

ラプラス・ダークネス 種族：見た目は悪魔っぽいなー

本名 ラプラス・ディア・ハイエスト・デスサーティン・ダイナ・アートオブインパクト・サイン・皇（すめらぎ）・ロード・オブ・The・ダークネス

見た目は悪魔！中身は可愛いやさしい！な悪魔っぽい人

ちよつと配信では生意気感を出していても配信外では真面目

絵羅とは近所のコンビニで会う

ファンネーム：ぷらすめいと

博衣こより 種族：獣人（コヨーテ）

h o l o Xの頭脳と本人は言っている

たまにセンチティブな発言しちゃう事が多々ある

絵羅とは今回が初絡み

ファンネーム：こよりの助手くん☒略して助手くん☒

風間いろは 種族：人間（この設定は狸人と人間ハーフ）

h o l o Xの用心棒 愛刀はチャキ丸

ホロライブでは珍しい清楚キヤラ

語尾にござるをつけるのが特徴でホロライブ中最もフィジカルが強くりングフィットアドベンチャーではほ息切れ無しととっても運動がつよくよ侍である

絵羅とは今回は初絡み

ファンネーム：かざま隊

絵羅「とりあえず風邪引いた理由は雨の日相合傘していたら傘が壊

れ自動車に水ぶっかけられ家まで遠くシャワー浴びれず風邪を引いてしまったみたいです」

ラプラス「仕方のない事象ではあったな」

いろは「2人の分まで楽しむでござる」

キャラ選択

いろは「風間は侍なので剣士キャラのルキナ使うでござる」

ラプラス「吾輩はリドリー」

こより「こよは：ロックマン」

絵羅「ホムラ／ヒカリにする」

こより「グラマラスですね そのキャラ」

ラプラス「スマブラに出てるキャラの中で一番だな…」

いろは「胸の話はストップでござる」

試合開始

ルール 大乱闘 5ストック 制限時間無し ステージ選択ラン

ダム アイテム無し チャージ切り札あり

ラプラス「このやろっ！」

いろは「甘いつ！」

ラプラスの攻撃はカウンターされる

吹っ飛ばされた先には絵羅ホムラが

絵羅「吹っ飛べ☆」

横スマ直撃

ラプラス「ぐあああ!!!」

ラプラス脱落

こより「そんな絵羅に切り札ああ！」

絵羅「あつぶね！」

上に避ける

いろは「わっ」

ロックマンの最後の切り札ミス

こより「ヌアングェ！」

いろは「そしてさよならでござる！」

コンボ決めて場外へ

こより「まだだああ！……へあっ!？」

戻って来ようとするこよりを絵羅がメテオを決めこより脱落

こより「ぬうううあああ!？」

絵羅「お互いストック2だな…」

いろは「うん」

ラプラス「どうするんだよ？」

1回自滅する2人

ラプラス「www」

こより「わざと自殺して不公平がないように調節したw」

いろは「分かっているじゃないですか 後輩君」

絵羅「スマブラ歴は先輩だぞお」

少しして戦闘再開

いろは「そこ！」

絵羅「甘いつ」

ヒカリチェンジから横スマ

いろは「まだでござる」

ダッシュジャンプして空前をする

絵羅はジャンプして横Bをして迎撃リーチの差で絵羅攻撃受けな

い

いろは「間合いが分かっているでござるな！」

絵羅「ホムヒカ使い慣れてるからなっ！」

ホムラチェンジして攻撃 いろはカウンターする

剣先で当てたのでカウンター不発

すかさず絵羅は横B 上手く当たる

追撃しようとしているはが空下を振っていた

当たらないように急降下してまたジャンプして空上をして横Bで

上手く当たりお屋様になつたいろは

絵羅の勝利

いろは「くあー！あそこで反応出来れば勝ってたでござる」

絵羅「当たって良かったぜ」

こより「最初はいろはちゃん優勢だったけど後半は絵羅君押してた

ね」

絵羅「横B当たって良かったぜ」

いろは「あんな闘い方もあるでござったか…勉強になるでござる」

絵羅「ふふん よし次行こう」

20回戦いをした結果圧倒的な力を見せつけた絵羅の勝利に終わった

絵羅 10勝 こより2勝 いろは4勝 ラプラス2勝

ラプラス「悔しいー!!」

いろは「強すぎでござるうー!」

こより「4勝出来たあーεー(´▽`;) ホッ」

絵羅「色んなキャラを研究してたし大乱闘での立ち回りはスマブラDXの時から4人とかでやってたから分かってるんよな %が一番高いやつから潰すのは基本だしな」

ラプラス「だから吾輩が最初に脱落するのが増えるのか…」

雑談

ラプラス「そういえば」

絵羅「うん なに」

ラプラス「なんで絵羅の家に新人いるの?」

こより「え? いつ見た!」

ラプラス「一昨日絵羅の家に入っていくの見たんだよ 不倫か?」

絵羅「ああ、俺の家を引越し先にどうかなって見て貰ってた 丁度おかゆいたし俺配信してたしな」

ラプラス「そっかよかった」

絵羅「驚かせてすまん」

いろは「沙花又幽霊の事で悩んでたでござるからな」

絵羅「丁度桜神社の御札とか貰ってて効果バツグンだから進めた部屋もまだ残ってるし丁度いいかなって」

ラプラス「考えてるんだな」

絵羅「おう」

実際はもう引越しを終わらせ住んではいる

第13話 帰省と制度

h o l o X コラボから1週間後

2人で3日の休みを取り獅白ぼたんと共に絵羅の実家へと帰る

ぼたん「絵羅の実家に行くのも久しぶりだね 覚えててくれてるかな…?」

絵羅「大丈夫人一倍記憶力いいからんじゃ入るか」

家に入る

絵羅「たっだいまー!!」

ぼたん「お邪魔します」

綾人「おかえり…それといらっしやい」

蒼井綾人

絵羅の父親 記憶力がよく細かい事まで覚えている

3歳の頃 嫁が他界してから男手ひとつで育ててきた

最初は絵羅の女装趣味については難色を示してはいたのだが絵羅の楽しそうな姿を見て「まあ、楽しんでるみたいだしまあいいか!」となったそうだ

綾人「どうだい 今の生活は」

絵羅「特に不自由無く過ごせてるよ また同居人増えたけど」

綾人「またああ!www」

絵羅「引越し先で幽霊とか謎の声に謎の現象が起きててね それを解消させたくてね」

綾人「うむ 幽霊は怖いやつもいるからな」

ぼたん「その口ぶりだと酷い目にあっただんですね」

綾人「深夜のドライブ中に突然人影が出たもんだから避けたら電柱にドガンとぶち当たってな 幸い怪我はしなかった で、警察に聞いたら幽霊が悪さしてるって言うんだよ 何回もその場所で事故つてそして皆、口を揃えて人影が出たってな」

絵羅「その後みこちがお祓いしてから事故が激減した」

ぼたん「怖っ でもそれで激減出来たのなら良かった」

綾人「ああ」

絵羅「じゃあ父さん2泊3日よろしく頼む」

綾人「おう」

ぼたん「お世話になります」

お昼

綾人「なにか食べたい物あるかー?」

絵羅「生姜焼きー」

ぼたん「私もー」

綾人「おkー」

ピンポン

絵羅「誰が来たな 出てくるー」

綾人「おkー」

玄関のモニターを見る

??「こんるるー」

絵羅「鈴原るる!?!」

るる「この子知り合い?ウロウロしてたけど」

AZKi「こ、こんあずき…たはは」

絵羅「AZKiまで…まあ、入ってよ」

玄関開けた

るる「お邪魔しマンモスー♪」

AZKi「お、お邪魔しまーす…」

綾人「おやおや珍しいな鈴原るるよ こんなところに来るなんて後

…AZKiちゃんか」

るる「お久しぶりです 綾人さん」

AZKi「はじめましてAZKiです」

鈴原るる 種族：人間

物静かで言葉遣いが優しい女の子

にじさんじの悪魔 でびでび・でびるを崇拜している

負けず嫌いで強敵には何度も何度も挑んだりしている

にじさんじを引退し今は綾人のガンプラ店で働いている

ファンネーム：なし

絵羅「それでなんの御用でござるか」

るる「んとね」

ぼたん「マジで!!!」

と、ニュースを聞いていたぼたんが叫んだ

絵羅「どしたどした?」

ぼたん「いつ」

A Z K i「い?」

ぼたん「一夫多妻制度と同性婚……明後日から適用だつて」

A Z K i 綾人 絵羅 るる「なっ!なんだつてえー!」

絵羅「…うお、めっちゃLINE来た これでおかゆ達嫁にできるな」

綾人「はい?」

るる「それはどういう」

A Z K i「ことなんです?」

絵羅「え?ああ、実は8人ほどに告白されててね 一夫多妻制が日

本で合法になったらその子達嫁に迎えるって約束したんだよ」

ぼたん「もちろん私は了承してる☆」

綾人「それならいいんだが…上手くやりくりしろよ」

絵羅「おう」

るる A Z K i「…」

絵羅「もちろん2人も俺のお嫁さんになります?」

A Z K i るる「えっ!」

ぼたん「気づかないとでも思ったか??」

るる「いつ気づいたの?」

絵羅「アホでび様がバラした」

るる「あのコアラめー」

絵羅「んでなんで俺のことを?」

るる「一目惚れだよ」

ぼたん「A Z K i先輩は?」

A Z K i「歌声と優しさに惚れました」

ぼたん「ほえー そうなんですな」

A Z K i「うん♪」

綾人「大所帯だなあw まあ何か出来る事があつたら遠慮なく言っ

てくれ支援する」

絵羅「助かる」

ぼたん「とりあえずこれからよろしくな 2人とも」

AZKi「るる「うん！」」

この後、たまきから求婚があつたのは言うまでもない

第14話 迷った時は来た道に戻れ!

絵羅「ヒマだねえ……」

一夫多妻制制度が施行するニュースが流れて1週間

おかゆやぼたん、クロエが旅行に行ってしまったので何もやる事がない絵羅

絵羅「ゲームより外に出るか!」

ゲームをやるのはいつも通りなので外に出かけることにした

絵羅「なんとなしに事務所まで来てしまった」

気づけば事務所まで来てた絵羅

ルーナ「あれ?絵羅君なのら」

スバル「あ、ほんとだ」

絵羅「よつす 2人とも」

姫森ルーナ 種族：人間

エレクトーンやゲームが上手な姫騎士である

モンハンでは介護されるより一緒に戦って欲しい派である

絵羅とは地球防衛軍5コラボで初絡み

ファンネーム：ルーナイト

大空スバル 種族：人間

ツツコミ芸人……え?違う?

ボーイツシユで活発な女子

昔、余命宣告を受けていたのだがそれを乗り越え現在も元気に過ごしている

絵羅とはルーナと同じく地球防衛軍5コラボで初絡み

その時のメンバーは大空スバル 獅白ぼたん 姫森ルーナ 蒼井

絵羅

招集をかけたのは獅白ぼたん

ファンネーム：スバ友

ルーナ「そういえばルーナ達が会うの久しぶりなのらよね」

絵羅「そうだねえ 地球防衛軍コラボ楽しかったな」

ルーナ「絵羅君が間違ってプラスマキャノン撃って吹っ飛んでたの

配信することもある

絵羅が小学4年だった時に1年だけ学校の保健医の仕事していたのでそこから知り合いになった

ファンネーム：ちよこめいと

スバル「ところでおめえなんでここに？」

ルーナ「そういえばそうなのら」

絵羅「暇 ゲームするのもなんだし外に出よう 自然とここに」

ルーナ「わかりやすいのらね」

絵羅「2人はどうした？」

スバル「えー……つと……」

ルーナ「デートしてるのら♥」

スバル「ちよお!?!」

ちよこ「まさかお付き合いです……?」

スバル「……うん」

絵羅「マジかよ おめでとう」

ルーナ「ありがとうなのら♪」

スバル「えへ」

絵羅「んじやあ 邪魔しちゃ悪いしどっか行こうかな」

スバル「気遣い感謝っ」

ルーナ「ばいばーい」

スバルルーナと別れた

絵羅「んでちよこはどうする？」

ちよこ「ちよこは絵羅様に着いてく着いてくー」

絵羅「おっけ じゃあ……どこ行くー!」

ちよこ「きめてないんかいっ!」

絵羅「なんのあてもなくフラフラするってのが好きだから今日はそ

の気分で歩いてたわ」

ちよこ「なるほど」

2人は目的もなくフラフラと歩いていたのだが……

ちよこ「ねえ 絵羅様？」

絵羅「……何かな？」

ちよこ「迷ってますわね??」

絵羅「……君のような勘のいい女性嫌いじゃない」

ちよこ「まってこれ帰れないのでは??」

絵羅「来た道戻ればなんとかなる!」

ちよこ「そ、そうですか」

迷った為来た道に戻ってみた

すると?

江良「迷ったアアア!!?」

楓「ほら言わんこつちやない… だから地図見よって言ったやん」

ちま「ワロタ」

絵羅「まーた迷ってんのか御伽原……」

楓「あつ! 絵:蒼井よつすー」

ちま「こんにちはー」

江良「迷ってねえからな!」

絵羅「迷ったって叫んでたの間こえてたぞ」

御伽原江良 種族:人間

シンデレラが憧れの女性

最初のうちは清楚だったのが配信を重ねるにあたりどんどん清楚が剥がれていくというV Tuberあるあるを体現していた

現在にはじさんじを卒業している

絵羅とは名前が同じなので苗字で呼んでいる

それに合わせて蒼井絵羅と御伽原江良が一緒にいる時は苗字で呼ぶようになっている

ファンネーム:王子様候補☒略すと王候☒

樋口楓 種族:人間

関西弁を話す女性

歌が上手くツツコミも上手い

ランティスレーベルにてメジャーデビューするほどの実力を持つ

絵羅がホロライブデビューしてから3ヶ月後の凸待ち配信に行つた時から交流が始まった

ファンネーム:楓組

町田ちま 種族：人間

歌唱力がバケモンな女性

歌唱力もさることながら狂人的な行動をすることがある

絵羅とはそんなに会ってなく2人はお互い歌上手いなあと思っている

ファンネーム：ゴンザレスまたはちまちゃんず

絵羅「んで、3人はなんで迷ってんだ」

楓「御伽原がなあ？目的もなくフラフラ歩こうよとか言っただけにブラブラしてたら迷ったんや」

ちま「もう疲れた…」

絵羅「御伽原バカなの？」

江良「黙らっしゃい そっちは？」

絵羅「適当にフラフラしてたら迷ったので来た道帰ろうかと思っただけだ」

ちま「そうなんだねえ」

江良「ざま……」

絵羅「さては来た道戻らないタイプだな」

江良「ぎくっ」

楓「絵羅に着いてった方がよさそうやなww」

絵羅「着いてこーい」

3人「はーい」

江良「あつ、待ってえ〜」

ちよこと楓達は初対面だったので自己紹介しつつ現在地が分かる場所まで歩き知ってる場所に戻れた5人

ちよこ「ちよつと焦ったあー」

絵羅「目的もなくフラフラ歩いて迷った時は来た道に戻るのが鉄則だぞ 覚えておいてね」

楓「はーい」

ちま「了解〜」

江良「覚えとく」

その後カフェに行って談話した後各々家に帰って行った

第15話 黒上フブキと愉快な仲間

あの迷子日から2週間と2日

絵羅 江良「……」

江良「まさかの仕事入るとは」

絵羅「なので今日は俺達だけで遊ぶ事になったぜ」

本来であれば花畑チャイカとリゼ・ヘルエスタと4人で遊ぶ約束をしていたのだがチャイカとリゼにお仕事が入ってしまった2人で遊ぶはめになる絵羅と江良

江良「んでどうする?」

絵羅「とりあえずどこかでご飯食べよう お腹すいたし」

江良「おk 洋食系の食べたーい」

絵羅「りよーかい お?」

とこ「あ、お2人さん やほ」

江良「とこちゃんやーほー!」

アロエ「こんちつちー!」

絵羅「アロエやんけ」

アロエ「吾輩だよ」

右方向からアロエ 左方向からとこが現れた

アロエ「んで何してるの?」

絵羅「今から飯食べに行こうと思ってるな」

江良「洋食系が食べたいってね」

とこ「うちもついて行っていい? お腹すいたし」

アロエ「吾輩も行くー」

絵羅「んじや一緒に行こう そういやアロエと御伽原ととこって初めてあつたよな?」

江良「うん 私は御伽原江良 蒼井と一緒にいる時は御伽原って呼んで欲しい」

とこ「うちは戌亥とこ 地獄の門番ケロボロスや」

アロエ「吾輩は魔乃アロエ 魔界人だ 絵羅とは夫婦になる」

江良「はあ!?!まじで!?!」

絵羅「そうだが？」

江良「えっ 嫁いるんじ………あー!!!一夫多妻制かああ！」

アロエ「ビンゴ♪なので浮気については安心しては安心してる」

とこ「嫁さんにすればええもんね」

絵羅「そうそう」

江良「食費とか大変そうだな」

絵羅「まあ、一緒に住んでるの3人だからまだマシ」

そんなこんな話してるうちにレストランへ

絵羅「ワイ奢る」

3人「あざーす」

クロ「あ」

絵羅「あ、黒上」

アロエ「白上先輩の黒バードジョン……？」

クロ「黒上フブキだ 白上のフブキとは従姉妹だ」

黒上フブキ 種族：獣人

白上フブキとは従姉妹

何故かほぼそっくりな黒上フブキ

白上フブキよりぶっきらぼう でも内面は優しかったりする

皆からはクロと呼ばれている

絵羅とは高校3年生の時に同じクラスになりガンダムの話で意気

投合した

クロ「まあ、私のことはクロと呼んでくれ 白上フブキと名前一緒

だしな」

アロエ「はい」

それぞれ自己紹介した後

クロ「じゃあ私はラーメン食ってくる その後遊ぼうぜ」

江良「いいよー」

ご飯食べ終わったあとクロとゲーセンへ行く

クロ「絵羅ってガンシューティングは得意か？」

絵羅「週に1回はガンシューティングしに来るな」

クロ「そのスカートで？」

絵羅「そうだよ?」

今回のコーデイネートは量産型コーデ

膝が出るくらいのスカート長さ、可愛い靴でありながら機能性も抜群、トップスはクロで肩が出る袖付き服

アロエ「今思ったが可愛いな吾輩、真似していいか?」

絵羅「いいぜ」

江良「地雷コーデとかは?」

アロエ「やったことあるが結構好き」

絵羅「そういや御伽原は地雷コーデは好きだったな」

江良「うん、まあ自分では着なくなっただけだね」

とこ「へー」

ゲーセンについた一行はそれぞれ行きたいところに行った

江良とアロエとここはメダルゲームにクロと絵羅はガンシユー

テイングに行った

絵羅「クロってガンシユーテイングは?」

クロ「今回が初だな、まあ、楽勝だろ」

絵羅「それじゃやってみよう」

ゲームも中盤

クロ「死ぬ死ぬ死ぬ!!」

絵羅「隠れてて俺やる」

クロが隠れて絵羅が攻撃する

絵羅「こことこことここに!」

的確に撃ちつつ隠れて攻撃を避ける

クロ「かつけえ!」

絵羅「それはこのゲームクリアしたら…ね!!」

そしてラスボスを倒した

クロ「かつけえ!お前のおかげで助かったー!!」

抱きつくクロ

絵羅「うお、まあ、クロも初心者としては上手い方だったぞ」

クロをなでなでする

クロ「えへえへへ」

尻尾フリフリしてる

クロ「あっ」

自分のした事に気づき離れる

クロ「まつ！まあ？まだ弱いつて事が分かったししし？ガンシユー
テイニング楽ししからまたやろうぜっ！」

赤面しつつそう言った

絵羅「おう」

絵羅は内心可愛いねえと思っていた

そしてその後5人でプリクラを撮った

クロ「昔プリクラ入ったが進化してたな」

絵羅「いやー プリクラなんて高校3年生以来だったからテンシヨ
ン上がったぜ」

とこ「こういうのもたまにええなあ♪」

アロエ「じゃあ吾輩帰るね ばいばーい」

江良「私も帰るー とこちゃんは？」

とこ「ウチも帰る 久しぶりに一緒に帰るか」

江良「やたー！ー！」

絵羅「それでは解散！」

絵羅とクロ以外帰って行った

クロ「私まだ時間あるし絵羅についてく」

絵羅「おっけー」

絵羅が向かったのは父親が経営するガンプラ店に行った

クロ「あ！そういえばR Gゴッドガンダム発売日だったな！」

絵羅「そうそう R Gゴッドガンダムあったら買ってやろうかって
思ってたな」

クロ「あるといいな」

綾人「いら お、絵羅とクロじゃん」

クロ「お久しぶり綾人さん」

絵羅「ところでR Gゴッドガンダムある??」

綾人「実は2体隠してた クロと絵羅にあげるためにな！」

クロ「店長にしか出来ない芸当で草あw」

綾人「というわけでタダで貰うかお金払って貰うかえr…」

絵羅「買う方向で」

そして絵羅はクロの分まで支払う

クロ「ゴチになるぜ」

絵羅「おう」

綾人「まいど」

クロ「話こんでたら暗…」

PM9時である

絵羅「送ってくよ」

クロ「何から何まですまん」

絵羅「いいぞ」

白上フブキ宅

絵羅「今フブキ先輩のところに住んでるのか」

クロ「おう」

フブキ「あ、2人ともやほー」

絵羅「フブちゃんやほ」

クロ「今帰ってきたところか？」

フブキ「うん 少し仕事でトラブルあったから帰るのがこの時間
に」

クロ「大変だったな」

絵羅「そだ 明日のコラボお願いしますね」

フブキ「うん 2人で盛り上がってこうね じゃあ先に家入ってる
ね」

家に入るフブキ

絵羅「んでどうだったよ あの3人と遊んだ感想は」

クロ「ここは思った通りのマイペーススケルベロスで江良は騒がしい
けど楽しくなるやつでアロエは左右の角が長さ違って悪魔でもやつ
ぱり個性が出るなと」

絵羅「飽きないんだよなあ 友達が沢山いるとき」

クロ「そうだな んしじゃあ送ってくれてありがとな」

絵羅「おうよ」

クロ「じゃ」

絵羅「また遊ぼうな」

クロ「うん!……あつ、抱きついたこと忘れろよな!じゃ!」
最後赤面してそう言って家に入っていった

絵羅「ふっ 忘れられるかよ」

クロ「ふう」

リビングに入る

フブキ「楽しかった?」

クロ「おう…むう」

フブキ「どうしたの?」

クロ「いやさ あいつ友達沢山出来てるから羨ましいなど 私もそれなりに友達いるけどさ」

フブキ「あーそれは分かる コミュカプレターだと思ってるよ

白上は」

クロ「あー そう言われると納得するな」

フブキ「それで?」

クロ「んだよ?」

フブキ「初恋に久しぶりにあった感想はどうですか?」

クロ「その…前よりカツコ可愛いとは思った…ガンシユーティン
グの時だつて改めてあ、こいつの事私好きなんだなつて…つてそうい
う事言わせるな恥ずかしい」

フブキ「そういうことにしてあげる ふふふ」

クロ「つたく…」

第16話 ホロライブEnglish Myth登場

絵羅「空き地について家が建った」

おかゆ「隣のだっけ」

絵羅「おう どんな人が住むんだろうな」

絵羅の家の隣にある空き地に家が建ちどんな住人が住み始めるのか楽しみになっている2人

絵羅「とりあえず食材買いに行こう」

おかゆ「おっけー」

イオンに到着し買い物をしていると

キアラ「あつ 絵羅さーん」

絵羅「キアラ!?!何故ここに!」

キアラ「それは後で教えます♪」

小鳥遊キアラ 種族：不死鳥

ホロライブEnglish

海外勢で日本語はまあまあ話せる程度

明るくて元気な女性

絵羅には月1で会いに来る事がある

ファンネーム：KFP

ぐら「あつ!絵羅ー♪」

絵羅「ぐらもいるし:待って」

おかゆ「Mythの人達全員おるやんけ」

カリオペ「やほ」

アメリカ「こんにはー!」

アメリカ 絵羅に抱きつく

絵羅「恥ずかしいからやめい」

アメリカ「えへっ☆」

イナニス「もうw」

がうるぐら 種族：獣人（鮫）

アトランティスから来たらしい鮫族

子供のように明るくてムードメーカー

高校2年の時に1年留学をする事になりホームステイ先として絵羅の実家で一緒に過ごして仲良くなる

ファンネーム：chumbuds

森カリオペ 種族：死神

魂を刈り取る死神

ラップが得意でVTuberの中ではトップクラスのラッパーと個人的にはそう思っている

絵羅とは実際に会うのは初めて

discordとかではチャットはしあっている

ファンネーム：Dead Beats（デッドビーツ）

ワトソン・アメリア 種族：人間

探偵の格好をした女性で獣人やら悪魔やら所属しているホロライブが気になりそれにハマリホロライブEnglishとしてホロライブに入った

絵羅にこんなに懐いているのは小学6年の時転校してきてその頃知り合い小学4で英語を喋っていた絵羅が色々日本語を教えたりしていたので今では親友となっている なお抱きつくのは懐いているだけであり恋愛感情は全くない

ファンネーム：teammates

一 伊那尔栖（にのまえ いなにす）☒以下イナニス☒種族：人？

古き神の司祭。とある日 このネクロノミコンがやばい大賞というなんだか胡散臭い本を拾ったことにより触手が生えてしまった女性

自分の意思で触手閉まったり出したりできるので触手に対しては気にしていない

絵羅とは今回が初対面 話した事もない

ファンネーム：Tentacult / Takodachis

ちなみに絵羅の友達が作成した日本語が喋れるようになる機械（イ

ンカム型)により日本人並に日本語を喋れるようになった

イナニス「初めましてー 伊那尔栖です よろしく願いします」

絵羅「蒼井絵羅だ 今後ともよろしく願いします」

絵羅「あの家アメリカが住むための家だったのか」

アメリカ「そう！他の子は遊びに来ただけ」

ぐら「また会えて嬉しいぞ 絵羅」

絵羅「また何かで遊びたいな」

ぐらを撫でる絵羅 嬉しそうな顔をするぐら

カリオペ「ほんとぐらは絵羅に懐いてるね」

ぐら「もちろん♪ホームステイしたからねー☆ 絵羅のおかげである程度は日本語喋れるようになったし感謝してるぞ」

絵羅「ふふん」

カリオペ「それにしても結婚生活どうなの??」

絵羅「今もぼたんとはラブラブに過ごせているよ たまに甘えて来るの可愛いんよな♪」

イナニス「そんな1面あるんだねー」

絵羅「配信では見れないってのもあるからね 知らなくても当然ちやつ当然なんだけど」

おかゆ「まあ僕も嫁なんだけどね」

4人「えっ」

アメリカ「まだ配信で言っただけなの?」

おかゆ「僕は言った」

絵羅「俺はまだ」

キアラ「知らないわけだよ」

カリオペ「何人嫁に迎えてるの?」

絵羅「11人」

キアラ「多くない?」

絵羅「惚れさせるの得意だからな」

イナニス「才能かな」

絵羅「多分」

絵羅宅

絵羅 おかゆ「ただいまー」

クロエ ぼたん「おかえりー」

絵羅「今日、mythメンバーと会ったわ」

ぼたん「え マジ？みんな？」

おかゆ「そうそう 遊びに来てたんだって」

ぼたん「そうなんだ」

絵羅「うちの右隣に出来た家はアメリカの家だった」

クロエ「ほほー 今後賑やかになりそうだね」

絵羅「うむ」

第17話 時の獄吏

クロニー「……………ここだよね」

ホロライブ English council 組の1人であるオーロ・クロニーは絵羅の家の前に来ていた

オーロ・クロニー 種族：人間

「議会」の一角であり、神々より作られし三番目の概念「時間」の典獄にあたる

生真面目ではあるのだが一度ツボに入るとゲラったりクールなイメージとは裏腹におっちょこちよいいな人である

クロニーと初めてコラボしたJPは絵羅である

ファンネーム：Kronies

ピンポーン

絵羅「はーいつてクロニーか」

クロニー「うん」

絵羅「ちよいまち」

ガチャ

絵羅「入ってー」

クロニー「はーい おじやまします」

ポルカ「お、クロニーじゃんやほー」

クロニー「あ、こんにちはポルカ先輩なぜここ?」

ポルカ「お泊まりです」

クロニー「なるほど」

絵羅「んで?どうして日本に?」

クロニー「絵羅に会いに来た」

絵羅「ほう?」

クロニー「場所はファウナに教えてもらったのよ」

絵羅「そうか お腹はすいてない?」

クロニー「まったk…」

ぐうううう

クロニーのお腹が鳴る

クロニー「……………すきました」

絵羅「よーし 振舞っちゃうぞ☆」

豚のしょうが焼きを作った

クロニー「美味しそう♪」

ポルカ「美味いんだよ これが」

絵羅「豚のしょうが焼きは自信ありだぞ」

3人「いただきます」

クロニー「美味しい 生姜が程よく効いてタレもいい感じ」

絵羅「俺のお父さんの味付けがこんな感じなんだよ」

ポルカ「初めて知ったわ」

絵羅「今言ったもん」

ポルカ「そうか」

お昼ご飯を食べ終わり

絵羅「クロニーせっかく来たんだしどこか」

クロニー「行く」

絵羅「即答」

ポルカ「それじゃあポルカはこれで失礼するよーん あ、後で婚姻

届渡しにまたくるねー！」

帰ってった

クロニー「サラツと結婚してと遠回しに言いましたね ポルカ先

輩」

絵羅「…ポルカなりの照れ隠し……………かな？」

クロニー「やっぱり一夫多妻なんですね 正直半信半疑だった」

絵羅「実際に言われねえとな 疑うのも仕方ないね」

クロニー「もし私が求婚したら嫁になれるの？」

絵羅「まだ海外の人との一夫多妻は協議中だからいまは無理だな

ゼータともその話してた オーストラリアとかの一夫多妻制が認

められている国の人なら話は別」

クロニー「そっか なかなか難しいね でも認められてほしい」

絵羅「俺もそう思う 俺を好きになってくれた海外ライバーもいる

事だし認められて欲しいな クロニー」

クロニー「何？」

絵羅「認められたら…どうする？ハーレム……入る？」

クロニー「うん 入りたい 絵羅の事好きだから」

絵羅「その時が来たら…しような結婚」

クロニー「うん ありがとう絵羅」

この後いっぱい遊んで満足してクロニーは自国へと帰って行った

第18話 h o l o Xとのマキブ

h o l o X本部

いろは「……………暇でござるう……………」

ラプラス「吾輩も暇」

ルイ「全員暇」

何もやることないh o l o Xはぐてーんとしていた

こより「…なにしましよー」

ガチャ

クロエ「こんちやーす」

ラプラス「あ、新人こんちやーす……………す」

クロエ「最終的にやる気無くすのやめい で?どうしたの?そんな
みんなぐてーんとしてー」

ルイ「やる事がないんだよねー」

ラプラス「うむ」

クロエ「そんなことだろうと思ひ絵羅連れてきた」

絵羅「チョリーツス!」

ドラマCD刹那のテンションで言う絵羅

ラプラス「よっ!?!よす!!」

足広げでぐだーんとしていたラプラスは姿勢を正した

ルイ「姿勢治すの早っ」

ラプラス「な、なんの事だかー??」

絵羅「ふふっ、相変わらず可愛いなラプラス」

ラプラス「え、えへへー♪」

ルイ「相変わらずのタラシ具合」

絵羅「ルイ姉には言われたくないでござ候」

いろは「ござ候www」

ルイ「オモロwwwってなんで私に言われたくないのさ!?!」

絵羅「えーだってサラツと女の子が喜びそうな言葉言うから…」

ルイ「え?みんなもそう思う???」

4人「うん」

ルイ「ガビーン（´。Д。、）」

そう思われていた事にシヨツクの高嶺ルイ

絵羅「まあ、そこがルイ姉の素敵なところなんだけどね」

ルイ「あんただってサラツと言うやないかい!!!」

絵羅「うん 自覚ある」

クロエ「あるんだ:w」

絵羅「うんってことでゲーム持ってきた 完全に俺の趣味だけど」
持ってきたゲームは機動戦士ガンダム EX T R E M E V S .
マキシブーストON 通称マキオンである

ルイ「わ ほんと絵羅の趣味」

クロエ「ガンダム知らなくても楽しめる?」

絵羅「うん ストーリーとかもないから あ、これ一目見て気に入ったってやつ使えば良いよ」

ラプラス「おっしやそれじゃやろーぜ」

ラプラスVS風真いろは

ラプラス「あ、吾輩こいつ見た目的に好き」

選んだのはバルバトスルプス

絵羅「格闘機だね」

いろは「風真はこれにするでござる」

選んだのはスサノオ

絵羅「こつちも格闘機だよ」

ルイ「格闘機対決か いいねえ」

絵羅「曲は俺の独断で妖気と微笑みにする 2人は準備いい?」

いろは「説明書見たからOK」

ラプラス「吾輩もOKだぞ」

使用機体

ラプラス ガンダムバルバトスルプス cost:2500

いろは スサノオ cost:2500

ルール設定

時間制限:∞

ブーストゲージ 100%

EXバースト時間	100%
EXゲージ初期値	0
EXゲージ増加量	100%
A 戦力ゲージ	2500
B 戦力ゲージ	2500
A ラプラス	
B いろは	

絵羅「対戦スタート」

ラプラス「うおー 動いてるだけでかつけー」

いろは「なかなか面白い形してるでござるな スサノオ」

そしてラプラスが突っ込む

いろは「おっと?」

避けるいろはは…だが

ラプラス「んと こう」

攻撃キャンセルして攻撃を続けコンボするラプラス

いろは「あいた!バーストあれば攻撃キャンセルできるので忘れてたでござる」

焦って後格闘してしまう

絵羅「あっ」

突然切腹し体力が削られる

いろは「なんでっ!」

ラプラス「スキありー」

いろは「てかけ…」

ラプラス「しなーい」

ルイ「後格闘って…」

絵羅「ハガクレ 切腹」

クロエ「切腹!」

絵羅「切腹した時に単発火力が出せる変わりに自機にダメージ入る
通常で100 入魂状態で150 トランザム状態で200 ト
ランザム+入魂状態で250の自傷ダメージ負う」

クロエ「使い所さん間違えると敗北する…ってことだね」
絵羅「そゆこと」

そんなことを話しているうちにラプラスで試合終了
ラプラス「切腹が無かったら吾輩負けてた」
いろは「諸刃の剣とはこのことでござるな」

ルイVSこより

こより「こよ、これにする」

ガイアガンダム cost:2000

絵羅「ワンコに変形する機体だよ」

こより「へー」

ルイ「私はこれかな」

ホットスクランブルガンダム cost:3000

絵羅「強い部類に入る機体 変形もできる」

こより「ルイルイの方が強そう……」

ルイ「でもお互い初心者だし良い勝負になりそう」

絵羅「結局腕次第なもの」

こより「確かにー」

絵羅「曲はイグナイテッド」

ルール変更

戦力Aが3000

戦力Bが2000になり後はさつきと同じルール

勝負が終わり勝ったのはこより

こより「おつこよおおお」

ルイ「ぐああ 操作ミスうう」

絵羅「おおつとルイ姉操作をミスってしまい勝利をみすみす逃して
しまー！」

4人「え??？」

ルイ「あつ私それ言いたかったのにー!!」

絵羅「言ったもん勝ちだよ」

最後の戦い

クロエVS絵羅

クロエ「沙花又これにする」

アツガイ cost 1500

こより「それかわいいー」

ラプラス「乗ってんのおっさんたけどな」

絵羅「アツガイ玄人が乗るとメチャ強 ちなみに1500と2000の2種類おる」

クロエ「使い方は？」

絵羅「ちよつと性能違うだけでほぼやること一緒」

クロエ「なるほどねー」

絵羅「そんなわけで選ぶのはこいつだ」

インフィニットジャステイス（ラクス機） cost 1500

ラプラス「1500対決か」

絵羅「んじややりますか」

ルールは同じ 戦力1500

勝ったのはクロエ

クロエ「やったあああ！」

絵羅「使い慣れてないと負けるなあ…」

そんなこんなでたくさん対戦したhooioxと絵羅なのでした

第19話 あおぎり高校とコラボ

絵羅「えーと ここか！」

某日某所

蒼井絵羅はあおぎり高校にいた

コラボのお誘いを受けたので打ち合わせのためにあおぎり高校に向いた

絵羅「失礼します」

魂子 真白 こまる「こんにちわー」

絵羅「こんにちわ、初めまして蒼井絵羅です よろしくお願いします」

魂子「音霊魂子です よろしくお願いします」

真白「大代真白だ よろしくお願いします」

こまる「栗駒こまるです よろしくお願いします」

あおぎり高校

都内のどこかにある高校

とは言っても18歳（1人自称17歳）が在学しているので一般的な高校とは違う

好きな事を好きだけやるといふ心意気を重視する高校だ

音霊魂子 種族：人間

あおぎり高校の3年生「2留」

色々と内気な性格だったがYouTube活動をして行くうちに人気者になっていた

ポンコツな所が可愛い「By作者」

ファンネーム：たまっ子

大代真白 種族：人間

あおぎり高校の3年生

自称17歳

マシユマロ大好きとの事だが実際にはおビールに合うようなおつまみ系が好き

ファンネーム：ドナー

栗駒こまる 種族：人間

あおぎり高校の2年

人々に笑顔と癒しを届けるべく頑張っている

努力に勝るものなし！がモットー

ファンネーム：まろん組

絵羅「んで、コラボのお誘いということですかんですけども…」

魂子「もちろんセンシティブなやつではなくマリオカートWiiをね やっていききたいなと思っておりましてね」

絵羅「マリカーWiiか めたくそやりましたね 4つセーブデータあつてその全部で1位取りましたし」

真白「どんっでもねえガチ勢やん」

こまる「大負けしそう」

魂子「それな どうです？やります？」

絵羅「やるで3人に格の違いってやつを見せちやる」

真白「んじゃその時はよろしくなっ！」

絵羅「おけ」

1週間後

魂子「皆ーこんにちはー 音霊魂子と」

真白「大代真白と」

こまる「栗駒こまるです」

魂子「今日は！ホロライブの男性VTuberの蒼井絵羅さんと私達3人でコラボです」

真白「では蒼井絵羅さんです どーぞー」

絵羅「どーもー ホロライブ初の男性VTuberの男の娘！蒼井絵羅ですー 今日制服をロリータ改造してみた服です」

コメント「キター(。▽。)ー！」「まじで男なん!!?」

「可愛いすぎるだろー！」「私女だけど負けた…女子力高い」

こまる「って凄お 裁縫得意なん?」

絵羅「下手くそだけど頑張って作っておるのだよ！男の娘たるもの可愛さを追求せねばな！」

魂子「凄ー 可愛い！」

絵羅「ふふん」

真白「女にしか見えねえな ふふふ」

魂子「と！言うわけで今日のゲームはマリオカートWiiiiii」
4人「いえーい！い！」

魂子「マリオカート8DELUXEももちろん楽しいんですがこつちもだいぶ面白かったので今回のコラボでやろうと思っておりまして」

こまる「打ち合わせで聞いたんだけど4つセーブデータ作れるゲームだけど4つとも全部1位取ったんだってー」

コメント「すげー」「暇人だったのか??」「友達は…?」

絵羅「友達はおるわw 友達と遊ぶときはマリカじゃなくて他のゲームだったんで必然的に1人で楽しんでたわけさね」

魂子「なる よーし！それじゃマリオカートWiiiやっていましよー」

こまる 絵羅 真白「おーい！」

音霊魂子

キャラ ボステレサ

カート トリツキー

大代真白

キャラ ヨツシー

バイク ポロネーズ

栗駒こまる

キャラ カロン

カート ブルーファルコン

蒼井絵羅

キャラ ルイージ

バイク マツハバイク

NPCあり

NPC強い

コースシヤツフル

アイテム ノーマル

走るコース16

絵羅「私の愛馬は凶暴です」

真白「こっちも凶悪だが？」

胸持ち上げる真白

絵羅「あーはいはいそうでっかー」

あしらう絵羅

真白「色仕掛け決まんないかー」

こまる「そもそも絵羅さんにはたくさんの嫁さんいるんですからあの程度の色仕掛けで落ちないと思う」

魂子「確かに 嫁の色仕掛けなら効きそうだけど」

真白「配信だからじゃなくて？」

絵羅「配信外でも効かんぞ」

真白「そっかー」

絵羅「あ、言い忘れてたんだけど嫁さんが…15人います」

コメント「「な、なんだってえー!!?」」

「多いわー!」「モテモテやんけ 羨ましい」

絵羅「えっへっへ」

コースはシャツフルで何が来るか分からない

絵羅「シャツフル1回目…」

真白「選ばれたのはマリカWiiのレインボーロードでした」

そして16走り終わり

絵羅「楽勝」

絵羅1位

魂子「うわーん」

魂子8位

真白「うっし!」

真白4位

こまる「ぐぬぬぬぬ」

こまる10位

真白「負けたけど楽しかったー」

こまる「NPCが強すぎた」

魂子「びえん」

絵羅「やはりハンドルはいい（*、ω、*）」

コメント「圧倒的ではないか」「つよつよ君」

魂子「というわけで今回はここまでお疲れ様でした！」

4人「ばいばーい」

あの後打ち上げに行きコラボお誘いありがとうという事で飯を

奢った絵羅だった

第20話 妊娠

某日

アンジユ「……………うー」

気だるそうに机にべたーんとしてるアンジユ

絵羅「どしたンジユ」

アンジユ「眠いし体がだるいんすよー」

絵羅「なんか変なの食った？」

アンジユ「ちやうわ なんか原因わかんねんだよお」

絵羅「…ふむ ワンチャン妊娠の兆候ありか…」

アンジユ「えっ？そんな??」

絵羅「体がだるいとか眠くなるとか妊娠してるかもしれない兆候
だつてネットで調べた あとはなんかある？」

アンジユ「んー ○首がチクチクする 御手洗近くなってる」

絵羅「あ、生理は？」

アンジユ「…そういえば前回から5週間は立ってるんだよな…」

絵羅「病院行く？」

アンジユ「行く」

アンジユの配信にて

アンジユ「おまたせ、待った？アンジユ・カトリーナだ 今回はとつ
ても大事な話がある」

緊急報告という配信タイトルにザワつくコメント

コメント「なんやなんや」「ワンチャンあるで」

アンジユ「実はな…うち妊娠した」

コメント「まじかアアアア」「おめでとうー！」

アンジユ「やったぜ！ちなみに私が1番目に妊娠した」

コメント「おおお」

アンジユ「だからちよい配信するの少なくなるよ また休暇とる時
はまた教えるね」

配信終わり

次の日

クロエ「……今日病院行ってきた」

ぼたん「なんで??」

クロエ「妊娠してるか確かめるためにです そしたら」

ぼたん「そしたら??」

クロエ「妊娠してました」

ぼたん「おー よかったやん」

クロエ「気だるい日が続いてたんでもしかしたら……って行って良かった」

クロエも妊娠したことを報告した

絵羅「アンジュとクロエが妊娠ですか……ふふ」

アンジュ「妊活してないのにねえ でも嬉しいな」

クロエ「食生活見直さなきゃねー」

アンジュ「あとはベビーカーとかガラガラとか用意せな」

絵羅「それな」

赤ちゃん用品を買いに来た絵羅達は必要な物を買った

絵羅「これでよし」

アンジュ「これで慌てずにすむね」

絵羅「そうだねえ」

クロエ「とりあえずいつ産まれるか楽しみ」

絵羅「だな あとは先に子供産んだ先輩に聞か」

クロエ「みこ先輩だね 交際初日で初夜迎えてその日から5週間後

検査したら妊娠発覚してもんね」

絵羅「んじや時間が取れる時に教えて貰おう」

2人「はい」

3日後 絵羅とクロエはお仕事中

アンジュはみこと千賀の家に居た

みこ「怪我しない大切なのは子供が当たっても良いように角は柔らかいスポンジとかで守ったり誤飲しないように細かいものはしつかりと容器とかに入れておくとかね いろいろあるにえ」

アンジュ「ほえー実際育ててみてどう?」

みこ「まあ……イラツとすることもあるけどとにかく息子が可愛くて

仕方がない 辛い事あつても笑顔で癒されるとかある」

アンジュ「ほむほむ…勉強になったわ ありがとうな」

みこ「いえいえー なんか困ったらみこに任せろ」

千賀「こういう時って頭良いんだよなみこち いつもこうあれば…」

みこ「おだまり千賀」

アンジュ「…ふふ ではまた遊びに来ますね」

さくら夫婦「はい」

アンジュ「いやはや為になったから 絵羅とクロエさんに教えなくては」

その夜はみこが教えてくれた事と自分達で子育てに調べまくった

第21話 人外ーズ

絵羅「今日は何しよー」

何をするか考えながらあるいていると

?? 「捕まえろー!」

絵羅「え?」

後ろから黒服の男達が迫ってきてた

絵羅突然の事に動けず拉致られた

絵羅「ア——」

とある屋敷

!!!!!!

絵羅「ここどこー?」

目覚めた絵羅は部屋に連れられていた

絵羅「なんで拉致られたんだ俺…?」

?? 「目覚めたね!」

絵羅「お、お前はー!?!」

ギルザレン「ふふふー」

絵羅「ギル様何故?」

ギルザレン3世 種族：吸血鬼

鬼
全く配信しないかなりライバーの中で特殊な活動をしている吸血

本来吸血鬼にとって弱点であるニンニクや十字架が平気

ファンネーム：ケンゾク

絵羅「んで何故俺は拉致られたんだよ?」

ギルザレン「(ひ・ω・ま)」

絵羅「要するに遊びてえんだな!直接言いに来いよ!!!!!!」

ギルザレン「(ひ・ω・ま) へへ」

!!!!!!

りりむ「あ、絵羅こんちつすー」

絵羅「りりむ、こんちつすー」

魔界ノりりむ 種族：悪魔

魔界からやってきた悪魔の子

何かしらの使命があったはずだが忘れてしまい今ではゲームに興

じている

本名はリリム・キスミー・ラブリーハートⅡロリータリア
ファンネーム：隠キャバス

りりむ「何故連れてきたの分かる??」

絵羅「暇だったのか?」

りりむ「うん」

絵羅「なら普通に誘えよ」

りりむ「趣向凝らした方が良かったとおもった」

絵羅「はたからみたら誘拐だからな」

りりむ「すまそ」

しばらくして

絵羅「んで何して遊ぶん」

ギルザレン「ガンプラ」

絵羅「おけ 何作るのん」

ギルザレン「HGのデスサイズヘル」

りりむ「HGのソードインパルス」

絵羅「んじや俺は：おっデステイニーやん これ作ろ」

りりむ「デステイニー好きなの?」

絵羅「大好き インパルスとかデステイニーインパルスとかデス

テイニーが好物なんよ」

ギルザレン「相当あいしてるんやな」

絵羅「おうよ」

作業部屋へ

絵羅「うわすげ ほぼ道具揃ってんじやん」

ギルザレン「たまに人呼んで作ったりしてるから道具揃ってきたの

よね」

絵羅「マジかよw んじや早速作らせてもらうぜ」

りりむ「りりむは初挑戦なので教えて欲しい」

絵羅「おけ」

数時間後

ギルザレン りりむ「出来たー!」

絵羅「うんゲート処理上手く出来てるし初めてにしては上手いぞりむ」

りりむ「わーい」

この後は塗装せず飾る

絵羅「また増えたな ガンプラ」

ギルザレン「まだ部屋あるので無問題」

りりむ「とんでもなくでかいからねー」

絵羅「まあ、とりあえず楽しめたありがとう」

ギルザレン「次は普通に呼ぶぞ」

絵羅「そうしてくれ事件か!?!って思っちやうからな(??▽?;)」

絵羅は家に帰った

第22話 おや？鷹嶺ルイの様子が……？

ルイ「……………はあ」

ペこら「ルイちゃんどうしたペこか？」

ルイ「あ、ペこら先輩」

兎田ペこら 種族：獣人（兎）

髪の毛に人参さしている兎

イタズラ好きで良くマイクラでイタズラを仕掛けたりドツキリ仕掛けたりする

笑い方が特徴的ひなのやりサとタメ張れるぐらい

ファンネーム：野うさぎ同盟 略して野うさぎ

ペこら「悩みあるなら言ってみるペこよ」

ルイ「じゃあ…絵羅を誘おうかと思いましたが……行く場所を考えます」

ペこら「そうペこか…なら、ペこちゃんにいいアイディアを教えてくださいペこ」

ルイ「なんですか？」

ペこら「実は…ゴニョニョ」

ルイ「なるほど早速やってみます」

ペこら「頑張るペこー」

ルイはアイディアを聞くとそうそうに事務所から出ていく

ペこら「……………今回はルイちゃんに譲るペこ つか絵羅は何人向かい入れるペこか??聞いてみよ」

メールで聞いてみるペこら

ペこら「金銭面大丈夫ペこか??」

3日後

絵羅「1時間早めに着いてしま…お？」

目線の先にいたのはルイ

絵羅「おっはよー」

ルイ「おはよう」

ルイの私服は藍色のジャケットと臙脂色スカートと黒のスニ―

カー

絵羅は水色ワンピースと水色のパンプスと水色の帯がついたカン帽子

ルイ「え、まっつて絵羅の方が女子力高くない??？」

絵羅「へへへー」

そんなこんなで合流

雲は多少多い

絵羅「状況次第では早めに帰らなくてはならないな」

ルイ「だねー」

絵羅「ということで早速行こうか」

ルイ「おk」

遊園地に行く2人

絵羅「いやー まさか遊園地ペアチケット当たるとは思ってたなくて
さ しかも当日券 誰と行こうか迷ってたんよね」

ルイ「なるほどつまりベストタイミングだったと」

絵羅「そゆこと…他の面々 主に嫁さん達だけと予定全員入ってた」

ルイ「へー ま、今回は楽しむぞー」

絵羅「おーー」

まずはコーヒーカップ

ルイ「おわーーーーー!!!」

絵羅「やっぱ回すの楽しーー!!!」

ルイ「分かるけどおおあーーー!!!」

ちよつと休憩して

お化け屋敷にやってきた2人

ルイ「は、入るの…??」

絵羅「入るよ 怖い?」

ルイ「へっ、へへ平気だし!」

絵羅「なら行こー」

ルイ「あつ待って」

中に入った2人

絵羅「お化け屋敷初めてだからどんな驚かせ方あるのか見て見た
かったんだよねー 楽しみ」

ルイ「そつ、そつですわね」

お化け役A「ぐおー!!」

ルイ「ちよわー!?」

絵羅「わお」

少し進み

ルイ「……」

絵羅「井戸あるね」

ルイ「絶対中からグワーツとくるんや……」

案の定中から上に貞子のような人形が出てきた

ルイ「やつぱりいいいいいい!!」

怖さのあまり絵羅の腕に抱きつくルイ

ふにゆんとルイの胸が絵羅の腕に当たる

絵羅「(柔けっ) 大丈夫??」

ルイ「だだだだ だいじよばない」

出口が見え

ルイ「早く出よっ」

絵羅「おけ」

出ようとしたその時コケるルイ そしてそれに引っ張られて

絵羅「やっべ」

受け止めるものの足滑らせ倒れた

絵羅「っ!」

ルイ「あっ」

顔が近くあわやキスするところだった

絵羅「大丈夫か? ルイ姉」

ルイ「だ、だいつじよぶ」

お化け屋敷の外に出たふたり

ルイ「危なかった……不倫になるところだった……」

絵羅「お、おう」

お互い気まづくなり景色を見ようということで観覧車に2人は乗

る

絵羅「綺麗だなー」

ルイ「そうだね」

夕日が眩しい町が見渡せる位置まで来ていた

ルイ「……」

絵羅「……」

沈黙が流れる

ルイ「あのさ」

絵羅「ん？なんだいルイ姉」

ルイ「ハーレムってどれぐらいまで規模増やす気なの?」

絵羅「ぼたんがこれ以上お嫁さん増やさないでって言われるまでかなあ さすがに限度あるし……全員お嫁さんにするのは難しいね
お金も結構必要になってくるから」

ルイ「へー まあそれはそうだよね」

絵羅「だから今のところはまだ増えるよ」

ルイ「そつか……あの……」

絵羅「ん？」

モジモジするルイ 顔が赤い

ルイ「私……絵羅の事好きになったの」

絵羅「っ!？」

予想してなかったその告白にびっくりする絵羅

ルイ「びっくりしたよね……でもその……この気持ちはほんとなんだよ」

絵羅の隣に行き手を取る

ルイ「だからね？ハーレムに加わせて貰ってもいいかな？大好きなの!!」

絵羅「もちろんいいよ ふふっ 宜しくねルイ」

ルイ「うん！」

観覧車が4分の3終わったあたりで2人はデーパーキスをした

ルイ「今日は楽しかった！ありがとう」

絵羅「どういたしましてそれじゃ帰ろっか」

なお休みを取って遠いところに行ったのでホテルに止まった2人
もちろん行き先は……ラ○ホであるのだがそこで何が起こるか
は秘密です

第23話 大代真白の新衣装

高嶺ルイと恋仲になってから1週間後

真白「こんちゃーっす」

次の服を作るための素材の買い物をしていると遠くから真白が現れた

絵羅「こんちっす 奇遇だな」

真白「うん 何してんの??」

絵羅「配信用の新衣装作るんだ」

真白「裁縫得意なんか!!?」

目を輝かせる真白

絵羅「そうだよ この服も自作だよ」

和風のロリータファッション 通称和ロリである

絵羅の服はほとんどが自作である

得意になったのは亡くなった母親に裁縫を教わっていたからである

絵羅「亡くなった母さん直伝の裁縫技術と努力の結晶だよ 感謝しかないね」

真白「素敵な親だったんだ」

絵羅「うん」

眩しいくらいの笑顔

真白「そうだ!そんな絵羅に依頼したいんだけど!」

絵羅「何かな カフェで話そか」

真白「おうけい!」

近くのカフェへ

絵羅「それで依頼内容はどんな感じで」

真白「実はな 新衣装作ってくれへんかって依頼」

絵羅「ほほう よしそうと決まれば衣装案を俺の家で出している」
う」

真白「おつけ」

カフェで昼食取ったあと

絵羅宅

絵羅「ではどんな感じで行きましょう」

真白「うん 上半身は…」

何日かに分けて衣装について様々な意見を出し合いついに完成した

真白「うおー めっちゃ可愛いなー!!!」

出来上がった衣装のラフを見てテンションが上がる真白

絵羅「あとはこれを作るだけだ」

真白「頼むぜ！」

絵羅「ok」

数週間

絵羅宅

真白「試着しに来ましたー」

絵羅「よ」

着てみる

真白「若干胸きついけど他はいいね」

絵羅「まあポロリはしないようにはしてる」

真白「ありがとう で……その」

絵羅「ん？」

真白「……可愛いかな??大代」

絵羅「可愛いに決まってるさ 普段の真白の服の時も可愛いけどな」

真白「ありがと…(照れ) 依頼金はどれくらいだ？」

絵羅「ざっとこんな感じ」

真白「もつと高いかと思ってた」

絵羅「友達価格だよ ほんとはもちつと高いから」

真白「なんと」

絵羅「とりあえずこれでいいな？」

真白「おっけー!!感謝感謝」

2週間後

大代真白新衣装配信お披露目配信

真白「こんばんはー 大代真白だーぞ!!! 今回はなあ初めての新衣装お披露目ということでド緊張しておりますっついで早速チラ見せしつつ新衣装お見せするよー」

場に出る新衣装大代

真白「どうよ!!この服!!」

コメント可愛いが沢山表示され赤スパまで飛んでくる

真白「うおっ!!赤スパあー!」

いつもの赤スパ芸をする

真白「いやー ほんとにありがとう ちなみにデザインと作ってくれたのはあの!男性ホロライブの蒼井絵羅さんなんですよ!」

コメントザワつく

コメ「マジでか」「まじかよ!!」「歌も上手いし裁縫も上手いしデザイン良いし最強か?」

真白「ほんと協力してくれた絵羅には感謝感謝」

そんなこんなで大代真白新衣装お披露目配信は成功を収めた打ち上げ

真白「いやー 大好評だったなー うしし」

絵羅「そうだねえー 頑張った甲斐があったというものだ」

2人で絵羅宅で家飲みをしている

絵羅はアサヒビール(銀色のやつ)を

真白はガソリン☒ビールの隠語☒(飲んでるのはキリンビール一番のやつ)を飲んでおりおつまみとしてファミリーマートのスパイシーチキン 枝豆である

真白「改めましてデザインや制作の依頼を受けて下さりありがとうございます(ぎざいました)」

絵羅「いえいえこちらこそ楽しい裁縫が出来てよかったです」

真白「win-winだったね」

絵羅「うむ」

真白「それでさ……」

絵羅「うん?」

真白らしからぬ態度

真白「まだハーレム募集してる?」

絵羅「募集つーより告白してくるたらその都度お嫁さんに迎えるってスタンスだよ まああと一人告白されたら一旦嫁さん作るの区切るけどな お金が不安になってきた」

真白「そうか……だったら思いの丈言っついていいか?」

絵羅「ん?」

真白「大代な……初めて会った時から絵羅の事気にはなってるな」

絵羅「うん」

真白「どんな人なんだろうかってずっと気になっててこうして友達として仲良く過ごしてたじゃん」

絵羅「そうだね」

真白「でも、今は……違う」

絵羅「違う?」

真白「絵羅を……蒼井絵羅という男を好きになってた」

驚きつつも絵羅は真っ直ぐに真白を見ていた

真白「だから大代もハーレムに加えてください 好きだ」

絵羅「……歓迎するよ 大代」

真白「ありがとな」

絵羅「これから恋人としてよろしくお願いします」

真白「ああ! よーし! そうと決まれば飲むぞー!!!」

絵羅「おー!!!」

この後テンション上がって飲みすぎて揃って二日酔いした

第24話 ハーレム一旦締切

絵羅「というわけで1回ハーレム作りを締め切ろうと思います」
ポルカ「ほほう？」

ゼータ「え？なんでー？」

絵羅「今の状態で増えるとあまりイチャイチャ出来てない人とか出てきてるしゼータとかクロニーとか海外の人達特に出来ないでしょ」

ゼータ「あーなるほどですね」

ベスティア・ゼータ 種族：人間

シークレット・アーカイブ・ユニットの構成員

コードネームはV・7

可愛い外見と声そして毒舌な性格と可愛いを詰め込んだかのような女性

髪型は独特であり原神の刻晴みたいなたけのこ付き
可愛い

ファンネーム：Z e c r e t a r y

ゼータ「そうそう これは朗報なんだけどね 私の住んでる国でね
一夫多妻制が出来たよ」

絵羅「めでたい」

ポルカ「……………それだけじゃねえ 中国と北朝鮮以外一夫多妻制
認めている」

ゼータ絵羅「なんやて工藤！」

ポルカ「誰が工藤ヤーツ!!!まあめでてえな」

ゼータ絵羅「そうだね」

そんなある日

あくあ「ねえねえ」

絵羅「なんだ？あくあ」

あくあ「ご主人様ってハーレム1回増やすの辞めたんでしょ??」

絵羅「そうなるな」

あくあ「告白されたらどうするの?」

絵羅「告白してくれた人をメモる」

あくあ「なるほど 再開した時にすぐ迎え入れるようにしてるんだー」

絵羅「無下にはしたくないんでな」

湊あくあ 種族：人間

メイドであるのだがおサボりしたり何かしらやらかしたりするドジっ子メイド

APEXでソロマスを達成し最初で最後のAPEX最協バトルではソロになった後の戦いでほぼ全員を驚愕させる程の実力を持つ

ファンネーム：あくあクルー

あくあ「そっか：休止中にどれくらい増えるか楽しみになったね」

絵羅「そうだな」

あくあ「あ、そうだ 今度エペコラボしない？1度2人でやってみたい」

絵羅「おけ やろう 俺もやりたかったし」

あくあ「えへへー じゃあ日程は後で伝えるね!!」

絵羅「おけー」

約束を取り付けた、あくあは帰った

絵羅「さて、たまきのところ行くか」

たまき宅

みしろ「はい お茶です」

絵羅「どうも」

飲む

絵羅「ふーお茶が美味し♪」

みしろ「貴方はマイメロですか」

絵羅「バレたか」

みしろ「モノマネしてましたもん」

絵羅「えへっ」

白雪みしろ 種族：獣人（犬）

のりプロ清楚粋の女の子

メイドで食事や家事などが得意でありどっかのおサボりメイドとは違ったスペックを持つ

清楚とは自分で名乗らず相手に言われた時のみ清楚と言う

下ネタには敏感で犬山たまきが下ネタを言いそうになるとサツと遮ったりと頼れるメイドなのである

絵羅とは犬山たまき経由で知り合う

ファンネーム：ゆきんこ

たまき「んで何しに来たの？」

絵羅「遊びに来た」

たまき「つまりセツ」

みしろ「言わせませんよ??？」

たまき「読まれた」

絵羅「そらそう」

この後遊び（意味深）をたまきとしたのは別のお話し

第25話 ウーバーござる With 蒼井絵羅

風間いろは&蒼井絵羅コラボ配信☒いろはは粋のみ☒

いろは「久しぶりにウーバーござるやるでござるー!」

絵羅「いえーい」

久しぶりにウーバーござるをやる風間いろは

絵羅「何を作るでござるかー?」

いろは「フオندانシヨコラでござる」

絵羅「得意分野の1つキタワア——(n, v) η——

!!!

いろは「マジでござるか」

絵羅「しかも簡単に作れるレシピあるからそれ見ながら作りましよう」

いろは「はーい」

コメント「絵羅に頼んだのマジ正解だわ」

「絵羅やござるのは他のホロメン大好評だったから神コラボ」

コメ綾人「絵羅のデザートは美味いぞ お父さん保証する」

絵羅「おwとwうwさwんw」

いろは「ガチで絵羅殿のお父さんでござるなあ!w」

コメント「うわガチや」「ここにも来るんだ」

「とかだいたい絵羅が出る配信には顔出してるよ」

絵羅「あ、そうなんだ 気づいてなかったわ」

コメ綾人「待機画面にコメしてるからw」

絵羅「なるほどな 知らんわけだ」

いろは「絵羅のお父さんが密かに見てたのが分かったところでフオندانシヨコラ作っていくでござるー」

絵羅「では作ります」

絵羅「まず型を使います」

いろは「はい」

絵羅「で、型の内側にバターを塗りそしてクッキングシートを貼っつけます」

いろは「はい」

絵羅「ココットでもいいしセルクルでも外れれば問題なし」

いろは「風間は薄力粉と砂糖をふるうので」

絵羅「チョコとバター湯煎するね」

いろは「了解でござる」

絵羅「溶けたので混ぜていくで」

いろは「溶いた卵にふるいにかけて薄力粉と砂糖を少しづつ入れていくでござる」

絵羅「両手を使ってやるのが大変なときは二〜三回に分けて混ぜていきましよう」

いろは「ダマが無くなったら2回に分けてチョコとたまごを混ぜるでござる」

絵羅「よし 出来たので型に流し込みます」

いろは「ここから本番でござるな」

絵羅「あとは焼き加減を上手くやらねば」

オーブンで焼く

絵羅「……焼き加減オールOK！」

いろは「直ぐに外すでござる」

クッキングシートを外し型を取る

絵羅「割って中身を見ましょ」

見事の中がトロリとしており成功した

絵羅「完成！」

いろは「どんだん作るでござるー♪」

2時間後

絵羅「いやー 沢山作ったねえ」

いろは「明日にでもウーバーござるをするでござる」

絵羅「おうけい じゃあ頑張ったご褒美にはい」

はいあーんの体勢

いろは「……あーん」

パクン

いろは「美味しいでござる」

絵羅「よし」

コメント「ナチュラルにはいあんしたぞ」「絵羅君やり慣れてるな」

いろは「お返しだ」

はいあーんするいろは 顔赤い

絵羅「あむ 美味しー さすが俺といろはだな」

いろは「そ、そうでござるな／＼」

コメント「たらしだ」「ルイ姉並にたらしだ」

いろは「たらしとか言われてるでござるよ?」

絵羅「うん 自覚してる」

いろは「タチが悪いでござる」

コメント「自覚ありたらしw」

絵羅「というわけでウーバーござるの準備配信でした」

いろは「みんなも覚えて作ってみてね」

絵羅「それじゃ」

2人「バイバイでござるー」

次の日 ウーバーござるは大盛況

この後いろははハーレム入りを決意するのだった

第26話 ガンプラ仲間増やし

絵羅のガンプラ作業部屋 「最大作業人数6人」

絵羅の家の3階はガンプラを置く場所と大勢でガンプラが作れるような部屋の2つしかない

絵羅「嫁さん増やすのやめてから1ヶ月たちましたねえ」

とこ「もうそんなに経つん？早いねえ」

クロ「早すぎんだろ」

フブキ「ほんとだねえー いつまでお嫁に増やさないようにするの？」

絵羅「んー ある程度までお金貯まったら…って感じだな」

アンジュ「いつまでかかることやら」

絵羅「少なくとも3ヶ月後だなー ガンプラ買うのも控えないと」

クロ「昨日大量買いしてたな」

フブキ「何買ったの？」

絵羅「ほい」

買った物

HG ガンダムエアリアル(改修型) HG ガンダムルブリス

HG ガンダムルブリスソーン HG ガンダムルブリスソウル

MGE X ストライクフリーダムガンダム HG ミカエリス

2個

HGBF ダブルオーシアクアンタ 3個 HGBF トラン

ジエントガンダム

HGCE デステイニーガンダム 2個

アンジュ「シアクアンタ3個は草」

絵羅「3店舗回ったわ 大変だった」

とこ「このMGE X欲しかったんよ まだアニメは見てへんけど見た目でビビッと来た」

クロ「なるほどな アニメ見てなくてもかっこよさや可愛さで触ってみようかって人いるからな」

絵羅「そうそう とうかかガンプラ作ったことあるの？」

とこ「あるよー HGC EインフィニットジャスティスとHGC E
デステイニーとMGダブルオークアンタぐらいいけど」

絵羅「なら心配しないでいいな それじゃどれがいいかそれぞれ選
んでくれ」

クロ ルブリスソーン フブキ ルブリスソウル

とこ ストライクフリーダム 絵羅 デステイニー

アンジュ トランジェントガンダム

絵羅「それじゃ始めよう」

アンジュ「えーと ゲートつて部品より少し離して切った方がいい
んだっけか」

絵羅「合ってる」

アンジュ「うし」

クロとフブキととこは慣れているため絵羅はアンジュに付きつき
りで教えている

絵羅「素組みでも不恰好でもまずは完成させよう」

アンジュ「おうよ」

数時間後

絵羅「できたみたいだしそれぞれのガンプラの好みのところ言っ
てくれ」

クロ「じゃあ私から黒色を主軸に細部には白を使っている フブキ
と色合いが対なるようにしている」

フブキ「クロちゃんと言った通り対になるように基本色は白色にし
てるよ あとクロちゃんガトリングが好きだから射撃武器交換した
よ」

とこ「うちは基本的には初期衣装の色合いで少しリゼとンジュの色
を織り交ぜたカラーにした 右の翼がリゼで左の翼はンジュの色」
アンジュ「私は初心者だからなるべくランナーの跡がないようにし
てるのとデカール綺麗に貼ること重視にした」

絵羅「俺はシアクアンタ色にデステイニーを塗って犬耳っぽいのス
クラッチしてつけた アンジュのやつ見ながらだと大変だったわ」

フブキ「思い通りの結果になって良かったですね」
アンジュ「たまには作ろうかな 楽しかったし」
絵羅「ガン普拉仲間増えたー」
クロ「またやろうな」

第27話 姉街

とある昼下がりに

姉街「こんにちは 絵羅君！」

絵羅「あらー お久しぶりですー こんにちは」

絵羅が散歩をしていると同じく散歩していた姉街と遭遇した

姉街「ほわー 可愛い服だねえー すすいちゃんから聞いてたけど
女装趣味なんだね」

絵羅「可愛さの追求には余念がないのさ」

姉街 種族：人間

星街すいせいのお姉である

本名はあるのだが名前は秘密なので皆から姉街と親しまれている

姉街「良かったら一緒に散歩しようよ ダメ？」

絵羅「いいぞ断る理由が無いし」

姉街「やたらーんじゃ行こっ？」

しばらく歩いたあとクレープの移動販売があつたので絵羅はいちごクレープを姉街はブルーベリークレープを公園で休む二人

絵羅「いちごクレープ♪」

姉街「ほんとにいちご好きだよね」

絵羅「いちご愛してるってぐらいにはね 定期的にパクパクですわー」

姉街「ふふ 可愛い そういえばさ」

絵羅「何ー」

姉街「すすいちゃんとは上手くいってるの？」

絵羅「なして??」

姉街「だって噂だよ？最近すすいちゃんと絵羅君いい感じだった」

絵羅「まじ？」

姉街「まじ」

最近すすいせいとつるむ機会が増えてはいるが別にお互い好きという感情はない

絵羅「いやー お互い好きって感情ないしなー」

姉街「あー やっぱりー？なんかそんな感じはした」

絵羅「すいちちゃん、みこちの事好きだったんだからそれは（ゞノ・

▽・、）ナイナイw」

姉街「なるほどねー あ、そっちのクレープ一口ちようだい」

絵羅「んじやそっちのクレープも一口くれ」

姉街「はい」

食べさせ合いをする絵羅と姉街

絵羅「そういやミックスベリーを食べると幸せになるってロマンチックな噂があるんだってさ」

姉街「……………恋愛的な？」

絵羅「かもなー……………あ」

2人は自分達がしたことに顔を赤らめる

絵羅「ま、まあ幸せの意味なんて色々あるし！」

姉街「私は……………恋愛的な意味でも……………」

小声で言う姉街 聞こえてはいたのだが知らないフリをする

絵羅「なんか言った？」

姉街「な、なんでもない！あははは」

絵羅「そか」

2人は自由気ままに散歩して解散した

星街家

すいせい「お姉ちゃんおかえり」

姉街「ただいまー 途中で絵羅君にあったよー」

すいせい「何話したの？」

姉街「すいちちゃんと絵羅君が良い雰囲気になってるって噂してるよーって」

すいせい「えっ!?そんな噂なってんの?!確かに一緒にいる時多いけど」

姉街「絵羅君もいやいやそれは（ゞノ・▽・、）ナイナイって」

すいせい「だって私みこち好きだもん」

姉街「そっかー」

その夜 姉街はいあーんしてもらいあーんをしたという事実

悶絶していた

第28話 双子のワンワン

新しく海外勢のホロライバーが増えてさらにホロライブが賑やかになってきた

そんなホロライバーの中にはリアル双子である2人のワンコがいた

そんな双子ホロライバーである2人は日本にそしてとある人物に会いに行く

フワワ「ここだー 絵羅さんの家ー」

モココ「事前にアポは取ってあるから安心だね」

そんな2人は蒼井絵羅がデビューしてからの古参リスナー

フワワ・アビスガード 種族：犬

イタズラしすぎて大監獄『The Cell』に投獄されてしまったワンワン

だけど脱獄してホロライブに入りました

ってかホロライブ懐深すぎやろ脱獄犯デビューさせるとか

まあ：投獄理由がイタズラが度を超えていた為：とかいう罪状だからこそ入れたんだらうけども

なお、お胸の装甲がモココとは違ってデカイしふわつとしてるのがフワワ

ちなみに好きな言葉は夜這い

本人曰く文通から始まるLoveロマンスうんぬんかんらしいが結局のところエツするのは変わらない

モココ・アビスガード 種族：犬

イタズラしすぎて大監獄『The Cell』に投獄されてしまったワンワン

だけど脱獄してホロライブに入りました

ホロライブ懐が（ry

フワワとは違い胸部装甲が平坦

姉妹は耳やしっぽを触れるのは禁止との事
双子であるがゆえたまに動きがシンクロする

ピンポン フワワはインターホンを押した

るしあ「いらっしやいなのです」

フワワ「るしあさんだー」

モココ「初めまして」

るしあ「初めましてー き、はいつて」

フワワ「はい」

絵羅「いらっしやーい」

モココ「本物だあああ！」

フワワ「可愛い」

絵羅「照れるねー」

その後自己紹介をすませた

絵羅「そういや2人は耳とか尻尾触られるのダメなんだっけ」

フワワ「そうですね でも」

モココ「絵羅先輩ならいいですよ」

絵羅「え? いいの?」

るしあ「羨ましい」

フワワ「ホロライブに入ったきっかけが絵羅先輩なのです 男の人

でこんな可愛い人がいるんだと衝撃を受けました」

モココ「トークも上手くてゲームも上手くてかっこいいなとも思

ました」

フワワ「そんな絵羅さんにお礼として触らせてあげたいんです」

絵羅「マジか それは嬉しいな 早速いい?」

フワワ「はい!」

るしあ「触り心地を聞かせてくれです」

フワワの尻尾を触ってみる

絵羅「名前のおり毛並みふわつとしてて顔うずめなくなるわ」

フワワ「えへへ」

モココの尻尾を触る

絵羅「こっちはモコってしてる」

モココ「生まれてから少しして毛並みがモコってしてるからモコ

コって名前になったんだよ フワワも理由としては似た感じ」

絵羅「なるほどねー ありがとう」

ケーキを食べお菓子を食べお開きに

フワワ「手作りケーキ美味しかったです」

モココ「パティシエになれそう」

絵羅「ふふ 嬉しいね また会おうね」

フワモコ「はーい！」

帰ったフワモコはゲリラ配信をして絵羅との会いお話ししたことを話した

もちろん 絵羅に耳や尻尾触らせたことは伏せて

次回に続く